

第2回 上山市振興審議会

期 日 令和5年8月23日（水）

午後2時00分

場 所 上山市役所2階「大会議室」

次 第

1 開 会

2 辞令交付

3 会長挨拶

4 会議録署名人指名

5 報 告

（1） 第7次上山市振興計画の振り返りについて

資料1

（2） 第8次上山市振興計画に係る市民意識調査結果について

資料2

（3） かみのやま☆未来市民会議の実施結果について

資料3

（4） 団体ヒアリングの実施結果について

資料4

6 協 議

（1） 基本構想骨子（案）について

資料5

（2） 総論・基本構想（案）について

資料6

（3） 施策の大綱 体系（案）について

資料7

（4） その他

7 そ の 他

8 閉 会

※次回の振興審議会は、9月26日（火）午後1時30分～を予定しております。

第 8 次上山市振興審議会委員名簿

区 分	委員の種別	職 名	氏 名
1 号委員	市議会の議員	上山市議会議員	尾 形 み ち 子
			川 崎 朋 巳
2 号委員	市教育委員会の委員	上山市教育委員会教育委員	木 村 佳 代 子
3 号委員	市農業委員会の委員	上山市農業委員会会長職務代理者	原 田 広 幸
4 号委員	市内の公共的 団体等の役員 及び職員 (五十音順)	一般社団法人上山市医師会理事	安 藤 常 浩
		一般社団法人上山市観光物産協会代表理事	五十嵐伸一郎
		上山市介護保険事業運営協議会委員	猪 狩 良 佳
		上山市 P T A 連合協議会母親委員会代表	榎 本 令 子
		上山市スポーツ協会会長	小 川 久 義
		上山市商工会会長	菅 野 高 志
		公益社団法人上山青年会議所理事長	小 松 亮 太
		上山市温泉クアオルト協議会委員	堺 美 奈 子
		国際ソロプチミストかみのやま理事	永 田 孝 子
		上山市地区会長会会長	堀 川 博 美
		上山市保育園保護者会連絡協議会会長	山 川 和 寿
		上山市文化団体協議会会長	山 川 庸 久
5 号委員	学識経験を有する者 (五十音順)	山形県議会議員	遠 藤 寛 明
		山形大学人文社会科学部教授	下 平 裕 之
		東和薬品株式会社山形工場 品質保証部品質保証第二課長	鈴 木 明 美
		東北学院大学地域総合学部教授	柳 井 雅 也

(2 0 名)

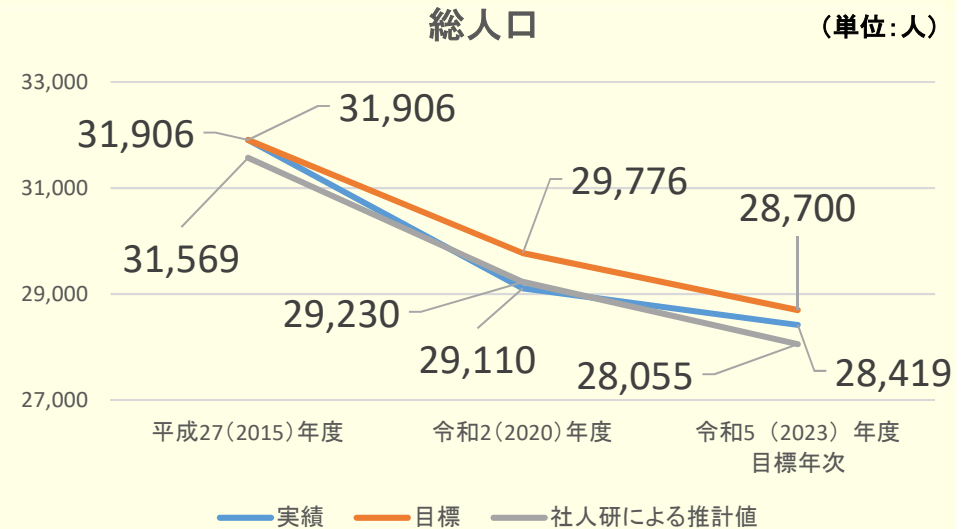
第7次上山市振興計画の振り返りについて

将来指標		1
施策の大綱とめざそう値		5
基本計画の施策目標		6

第7次振興計画・基本構想の振り返り

将来指標1 令和5(2023)年度人口 28,700人

- 第7次上山市振興計画の基本構想においては、将来指標として、令和5(2023)年度人口の目標を28,700人とした。
- 基本構想の期間である平成28(2016)年度から令和5(2023)年度までの人口推移は減少傾向にある。
- 最新値の令和5(2023)年3月31日時点の人口は28,419人であり、目標の28,700人を下回ることが見込まれる。



			平成27(2015)年 住民基本台帳人口		令和2(2020)年 国勢調査		令和5(2023)年 目標年次	
	目 標		31,906人		29,776人		28,700人	
総人口	実 績				29,110人		28,419人(R5.3) *1	
	(参考)社人研による推計値 *2		31,569人		29,230人		28,055人	
三層区分	0～14歳	実績	3,242人	10.2%	2,717人	9.3%	2,529人	8.9%
	15～64歳	実績	17,609人	55.2%	14,942人	51.3%	14,513人	51.1%
	65歳以上	実績	11,055人	34.6%	11,451人	39.3%	11,377人	40.0%

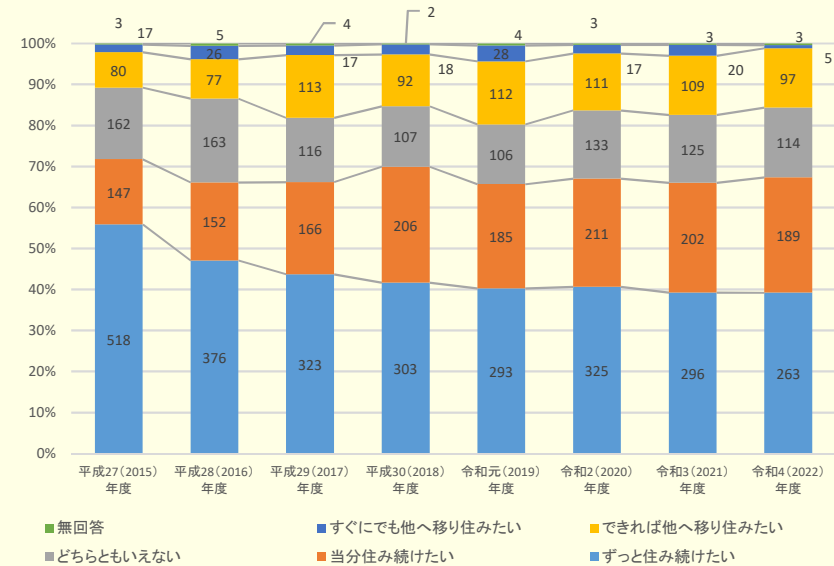
*1 令和5(2023)年3月31日時点。上山市「上山市の今月の人口と世帯数」(<https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/soshiki/6/km201300498.html>)に基づく。

*2 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』(<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>)に基づく。なお、同推計は5年ごとの人口を示すものであり、令和5(2023)年については、同推計に基づき日本生産性本部が示した数値を記載している。

第7次振興計画・基本構想の振り返り

将来指標2 住み続けたい率 80%

- 第7次上山市振興計画の基本構想においては、将来指標として、住み続けたい率（「ずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」を合計した割合）を80%と定めた。
- 基本構想の期間である平成28(2016)年度から令和4(2022)年度までの住み続けたい率は60%半ばを推移している。
- 他へ移り住みたい率は、令和元(2019)年度以降、減少傾向にある。



問 あなたは、今後とも上山市に住み続けたいと思いますか？

		平成27(2017)年度		平成28(2016)年度		平成29(2017)年度		平成30(2018)年度		令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
実績		71.7%	665人	66.1%	528人	66.1%	489人	69.9%	509人	65.6%	478人	67.0%	536人	66.0%	498人	67.3%	452人
内訳	ずっと住み続けたい	55.9%	518人	47.1%	376人	43.7%	323人	41.6%	303人	40.2%	293人	40.6%	325人	39.2%	296人	39.2%	263人
	当分住み続けたい	15.9%	147人	19.0%	152人	22.5%	166人	28.3%	206人	25.4%	185人	26.4%	211人	26.8%	202人	28.2%	189人
	どちらともいえない	17.5%	162人	20.4%	163人	15.7%	116人	14.7%	107人	14.6%	106人	16.6%	133人	16.6%	125人	17%	114人
	できれば他へ移り住みたい	8.6%	80人	9.6%	77人	15.3%	113人	12.6%	92人	15.4%	112人	13.9%	111人	14.4%	109人	14.5%	97人
	すぐにでも他へ移り住みたい	1.8%	17人	3.3%	26人	2.3%	17人	2.5%	18人	3.8%	28人	2.1%	17人	2.6%	20人	0.7%	5人
	無回答	0.3%	3人	0.6%	5人	0.5%	4人	0.3%	2人	0.5%	4人	0.4%	3人	0.4%	3人	0.4%	3人
有効回答数		100.0%	927人	100.0%	799人	100.0%	739人	100.0%	728人	100.0%	728人	100.0%	800人	100.0%	755人	100.0%	671人

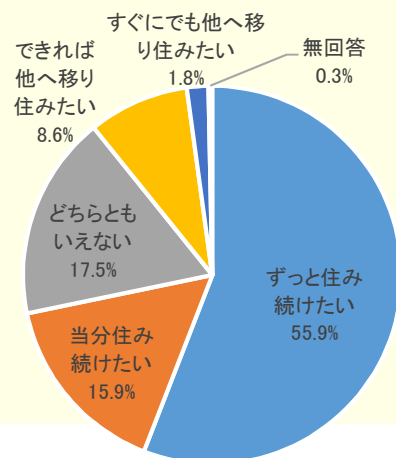
第7次振興計画・基本構想の振り返り

定住意向と生活環境について

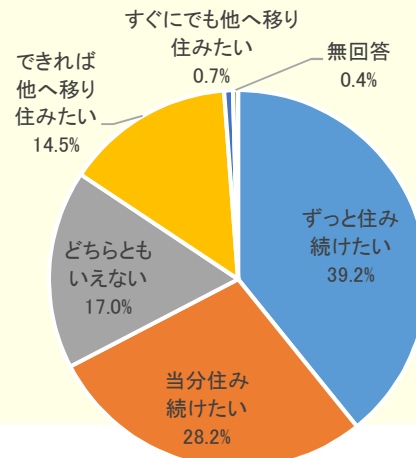
- ・ 上山市にずっと住みたい・当分住みたいと思う市民はやや減少(平成27(2015)年度 71.7%⇔令和4(2022)年度 67.3%)。
- ・ できれば他へ移り住みたい・すぐにでも他へ移り住みたいと思う市民は増加(平成27(2015)年度 10.4%⇔令和4(2022)年度 15.2%)。
- ・ 平成27(2015)年度の調査結果と令和4(2023)年度の調査結果を比較すると、工場や車などの振動や騒音等(+0.03)、災害についての安全性(+0.05)、道路の整備状況(+0.06)、公園や子供の遊び場等の整備状況(+0.05)、伝統的な文化や芸能の継承(+0.03)、は改善。
- ・ 医療サービスの受けやすさ(-0.05)、ごみやし尿処理状況(-0.06)、近くの川のきれいさ(-0.01)、通学の安全性(-0.06)、通勤通学の便利さ(-0.02)、公共交通機関の利便性(-0.07)、日常の買物をするときの便利さ(-0.03)、近所の人と気軽に会合できる適当な場所(-0.06)、周辺の自然環境(-0.02)、近所とのつきあい(-0.07)は悪化。

問 あなたは、今後とも上山市に住み続けたいと思いますか？

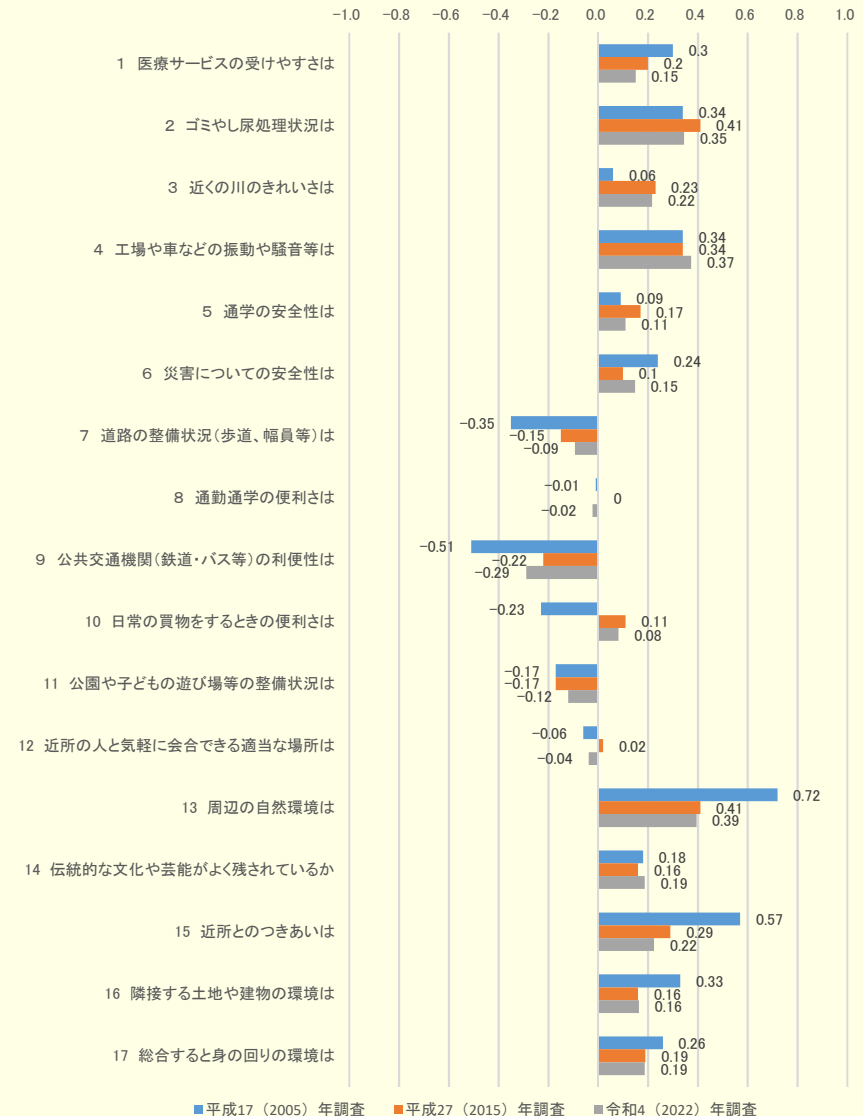
平成27(2015)年度調査



令和4(2022)年度調査



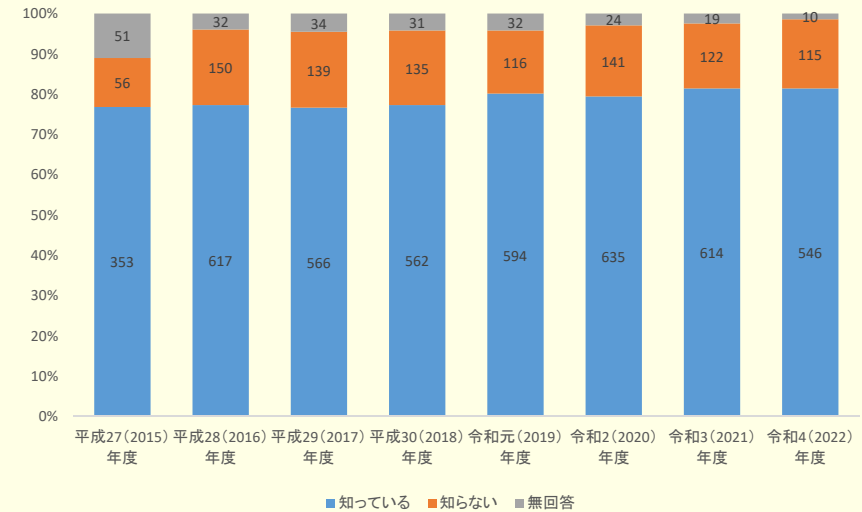
問 生活環境について



第7次振興計画・基本構想の振り返り

将来指標3 クアオルト認知度 90%

- 第7次上山市振興計画の基本構想においては、将来指標として、クアオルト認知度（「知っている」の割合）を90%と定めた。
- 基本構想の期間である平成28(2016)年度から令和4(2022)年度までのクアオルト認知度に大きな変化は無い。



問 あなたは、クアオルトを知っていますか？

		平成27(2015)年度		平成28(2016)年度		平成29(2017)年度		平成30(2018)年度		令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
内訳	知っている	76.7%	353人	77.2%	617人	76.6%	566人	77.2%	562人	80.2%	584人	79.4%	635人	81.3%	614人	81.3%	546人
	知らない	12.2%	56人	18.8%	150人	18.8%	139人	18.5%	135人	15.4%	112人	17.6%	141人	16.2%	122人	17.1%	115人
	無回答	11.1%	51人	4.0%	32人	4.6%	34人	4.3%	31人	4.4%	32人	3.0%	24人	2.5%	19人	1.5%	10人
有効回答数		100.0%	460人	100.0%	799人	100.0%	739人	100.0%	728人	100.0%	728人	100.0%	800人	100.0%	755人	100.0%	671人

第7次振興計画・基本構想の振り返り

施策の大綱	めざそう値	平成27 (2015) 年度(実績)	令和元 (2019) 年度(実績)	令和3 (2021) 年度(実績)	令和5 (2023) 年度(目標)
1 はぐくむ 笑顔いっぱいのまち	1 子育て環境が充実していると思う市民の割合	16%	32%	25%	35%
	2 生涯学習・文化活動に関わっている市民の割合	32%	15%	15%	40%
	3 スポーツを行っている市民の割合	41%	27%	27%	50%
2 やすらぐ 元気であたたかいまち	1 普段健康だと思っている市民の割合	74%	54%	52%	85%
	2. 新規介護認定者数	600人	416人	441人	570人
	3 福祉活動に参加したいと思う市民の割合	80%	28%	22%	90%
3 にぎわう 魅力と活力あふれるまち	1 認定農業者一人あたりの耕作面積	364a	368a	377a	460a
	2 市内製造業の粗付加価値額 ※1	180億円	266億円	301億円	250億円
	3 かみのやま温泉の宿泊者数	27.8万人	24.7万人	13.6万人	32万人
4 うるおう 快適に暮らせるまち	1 道路、公園、河川が整っていると思う市民の割合	40%	26%	18%	50%
	2 市民ひとり1日あたりのごみ排出量	685g	784g	790g	640g
	3 自主防災組織が活動している割合	66%	67%	60%	75%
5 つながる みんなで創る住みよいまち	1 まちづくりの活動に積極的に参加したいと思う市民の割合	40%	22%	20%	50%
	2 国内外との交流が進んでいると思う市民の割合	－	17%	12%	30%
	3 転入者数と転出者数の差	▲130人 ※平成23年 ～平成27年までの年 間平均	▲43人	▲166人	▲15人
6 すすめる 施策実現のための行政運営	1 基本計画に掲げた目標値を達成した施策数の割合	－	43%	40%	90%
	2 一般会計※2 の借入残高	173億円	172億円	149億円	158億円
	3 行政から必要とする情報を得られていると思う市民の割合	63%	22%	21%	70%

※1 粗付加価値額とは、企業の製造品出荷額から消費税や原材料料費等を差し引いた金額で、企業が生み出した製品価値を表す指標のこと
 ※2 一般会計とは、教育や福祉、消防、道路など市の基本的な経費を計上した会計のこと

第7次振興計画・基本計画の振り返り

前期基本計画の施策目標の達成状況

施策	目標の達成状況*1	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度
全施策	施策目標の達成率	54.7%	49.2%	48.1%	43.2%
	施策目標数	186	186	186	186
	達成数	94	87	87	79
	未達成数	78	90	94	104
	対象外	14	9	5	3
第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』 (施策数:18)	施策目標の達成率	57.5%	52.5%	53.7%	39.0%
	施策目標数	41	41	41	41
	達成数	23	21	22	16
	未達成数	17	19	19	25
	対象外	1	1	0	0
第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』 (施策数:14)	施策目標の達成率	53.8%	42.3%	38.5%	38.5%
	施策目標数	27	27	27	27
	達成数	14	11	10	10
	未達成数	12	15	16	16
	対象外	1	1	1	1
第3章 にぎわう『魅力と活力あふれるまち』 (施策数:16)	施策目標の達成率	65.4%	54.8%	51.6%	64.5%
	施策目標数	32	32	32	32
	達成数	17	17	16	20
	未達成数	9	14	15	11
	対象外	6	1	1	1
第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』 (施策数:27)	施策目標の達成率	50.0%	42.0%	48.1%	38.2%
	施策目標数	56	56	56	56
	達成数	26	21	26	21
	未達成数	26	29	28	34
	対象外	4	6	2	1
第5章 つながる『みんなで創る住みよいまち』 (施策数:8)	施策目標の達成率	33.3%	56.3%	26.7%	25.0%
	施策目標数	16	16	16	16
	達成数	5	9	4	4
	未達成数	10	7	11	12
	対象外	1	0	1	0
第6章 すすめる『施策実現のための行政運営』 (施策数:6)	施策目標の達成率	69.2%	57.1%	64.3%	57.1%
	施策目標数	14	14	14	14
	達成数	9	8	9	8
	未達成数	4	6	5	6
	対象外	1	0	0	0

*1 目標・実績の数値が得られない施策は、目標の達成状況の分析の対象外としている。

第7次振興計画・基本計画の振り返り

後期基本計画の施策目標の達成状況

施策	目標の達成状況*1	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
全施策	施策目標の達成率	38.5%	49.6%
	施策目標数	122	121
	達成数	47	60
	未達成数	70	54
	対象外	5	7
第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』 (施策数:17)	施策目標の達成率	25.8%	38.7%
	施策目標数	32	31
	達成数	8	12
	未達成数	23	17
	対象外	1	2
第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』 (施策数:11)	施策目標の達成率	52.6%	50.0%
	施策目標数	20	20
	達成数	10	10
	未達成数	9	10
	対象外	1	0
第3章 にぎわう『魅力と活力あふれるまち』 (施策数:12)	施策目標の達成率	41.2%	41.2%
	施策目標数	17	17
	達成数	7	7
	未達成数	10	9
	対象外	0	1
第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』 (施策数:24)	施策目標の達成率	33.3%	57.6%
	施策目標数	33	33
	達成数	11	19
	未達成数	22	13
	対象外	0	1
第5章 つながる『みんなで創る住みよいまち』 (施策数:6)	施策目標の達成率	50.0%	44.4%
	施策目標数	9	9
	達成数	3	4
	未達成数	3	2
	対象外	3	3
第6章 すすめる『施策実現のための行政運営』 (施策数:6)	施策目標の達成率	72.7	72.7%
	施策目標数	11	11
	達成数	8	8
	未達成数	3	3
	対象外	0	0

*1 目標・実績の数値が得られない施策は、目標の達成状況の分析の対象外としている。

第7次振興計画・基本計画の振り返り

1 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』

施策目標の達成率:38.7%（指標数31、達成数12）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
1-1-1	結婚に導く環境づくり	結婚支援事業による成婚数	5件	1件	×
1-1-2	子育てに関する施設利用と経済的支援の充実	年間を通じての待機児童数	0人	0人	○
		総合子どもセンター利用者数	110,000人	25,921人	×
		子どもがいる世帯のうち子どもが2人以上いる世帯の割合	54.8%	56.6%	○
1-1-3	子育てに関する情報提供・相談体制の充実	3歳児健康診査における保護者の市LINE公式アカウントの利用割合	25%	68%	○
		相談支援延件数	1,200件	1,023件	×
1-2-1	生涯学習環境の整備	公民館事業へ参画した人数	27,000人	12,401人	×
1-2-2	青少年の健全育成と地域の教育力の向上	青少年育成市民大会参加者数	200人	-	-
		放課後子ども教室参加児童の満足度	78%	77%	×
1-2-3	図書館機能の充実と読書活動の推進	市立図書館入館者数	95,000人	68,767人	×
		ボランティアとの連携事業開催数	80回	53回	×
1-3-1	確かな学力を育む学校づくりの実現	「学級での生活に満足している」と回答する児童生徒の割合	65%	65%	○
		NRT検査の結果	小・中学校ともに全国平均を上回る	小・中学校ともに全国平均を上回る	○
1-3-2	特色ある学校づくりの実現	「学校内に気軽に話ができる大人がいる」と回答する児童生徒の割合	83%	86%	○
		「特色ある学習活動が展開されている」と回答する保護者の割合	85%	80%	×
1-3-3	担任力の向上	「学校に行くのが楽しい」と回答する児童生徒の割合	88%	89%	○
1-4-1	学校等施設・設備の整備	「学校施設や学習環境に満足している」と回答する児童生徒の割合	88%	89%	○
1-4-2	読書環境・ICT環境の整備	中学生の一人平均貸出冊数	16冊	11冊	×
		「授業でパソコンを利用する環境が整っている」と回答する児童生徒の割合	89%	95%	○
1-4-3	学校規模の適正化の推進	複式学級がある学校数	1校	1校	○
1-5-1	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	運動が好きな市民の割合	67%	48%	×
		運動が好きな小学生の割合	90%	84%	×
		公共スポーツ施設利用者数	300,000人	229,726人	×
1-5-2	競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備	殊勲賞の受賞件数	60件	20件	×
		全国規模の大会開催数	3大会	3大会	○
1-5-3	スポーツを通じた地域活性化の推進	トップアスリートとの交流事業回数	4回	-	-
		蔵王坊平アスリートヴィレッジ利用者数	73,000人	32,064人	×
1-6-1	文化財愛護による地域づくり	歴史的建造物の入館者数	18,800人	5,653人	×
1-6-2	文化芸術活動の環境づくり	文化団体協議会の加盟団体数	23団体	23団体	○
		総合文化祭来場者数	6,600人	1,555人	×
		茂吉忌合同歌会等における本市からの応募割合	20%	19%	×

第7次振興計画・基本計画の振り返り

2 やすらぐ『元気であたたかいまち』

施策目標の達成率:50.0%（指標数20、達成数10）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
2-1-1	生涯を通じた健康づくりの推進	特定健診受診者でBMIが25以上の方の割合	24%	28%	×
		特定健診受診者でメタボリックシンドロームや予備群判定者の特定保健指導実施率	70%	55%	×
2-1-2	健康づくりを支援する環境整備	健康づくり教室等の参加者数	25,000人	29,248人	○
2-2-1	関係機関との連携による地域保健体制の充実	自殺死亡率（人口10万対）	20.4人	16.9人	○
2-3-1	地域支援事業の充実	要介護認定者の伸び率	3.1%	▲0.4%	○
		生活支援サポーター新規活動者数	10人	0人	×
		認知症サポーターのうち、新規ボランティア活動者数	10人	11人	○
2-4-1	国民健康保険等の充実	特定健康診査受診率	55%	46%	×
		ジェネリック医薬品利用率	80%	82%	○
2-4-2	国民年金制度の推進	国民年金保険料収納率	81.0%	82.5%	○
2-5-1	地域で支え合う福祉の充実	福祉ボランティア団体数	25団体	23団体	×
		民生児童委員の充足率	100%	95%	×
		福祉関係大会の参加者数	820人	150人	×
2-6-1	高齢者の生きがいづくり	まじやれの参加者数	9,200人	2,732人	×
		シルバー人材センターの会員数	295人	318人	○
2-6-2	高齢者の安全・安心な暮らしの確保	安心見守りサービスの利用世帯数	46世帯	40世帯	×
2-7-1	障がい福祉サービスにおける相談支援の充実	障がい福祉サービス利用者の割合	16%	22%	○
2-7-2	障がい者の社会参加と障がい者理解の促進	障がい者就労支援施設等利用者の割合	29%	25%	×
		地域総合支援協議会による啓発事業参加者数	150人	160人	○
2-8-1	生活困窮者等の社会参加と就労支援を推進する体制の充実	稼働収入増による自立世帯数の割合	6%	23%	○

第7次振興計画・基本計画の振り返り

3 にぎわう『魅力と活力あふれるまち』

施策目標の達成率:41.2%（指標数17、達成数7）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
3-1-1	農業の担い手の確保	人・農地プランに位置付けられた地域の中心経営体への農地集積率	46.0%	42.6%	×
3-1-2	農産物販売額の拡大	個人経営の認定農業者一人あたりの販売額	12,000千円	11,270千円	×
		ワインぶどう栽培面積	63ha	65ha	○
3-1-3	有害鳥獣対策の推進	有害鳥獣による被害額	19,000千円	18,077千円	○
3-1-4	豊かな森林資源の活用	市産木材の生産量	400m³	102m³	×
3-2-1	中心商店街の活性化	中心商店街の歩行者・自転車通行量(平日+休日)の平均	1,655人	721人	×
3-2-2	個店の魅力向上、経営の安定化及び創業支援	小規模事業者持続化補助金採択件数	20件	21件	○
		新規創業者数	5件	7件	○
3-3-1	産業拠点形成及び企業誘致	企業誘致件数	1件	2件	○
3-3-2	工業の成長支援	市内製造業の粗付加価値率	37%	35%	×
3-4-1	人材の確保・定着	市内在住高校生の市内企業就職率	31%	34%	○
		産業人材誘導数	20人	13人	×
3-4-2	働きやすい職場づくりの推進	次世代育成支援対策推進法等に基づく新規認定企業数	1社	0社	×
3-5-1	周遊の拠点となるための戦略的な観光振興	宮城県・福島県・新潟県・首都圏からの宿泊者数	152,000人	-	-
		訪日外国人宿泊者数	6,600人	0人	×
3-5-2	体験型観光の推進	旅行商品・観光メニュー化件数	6件	142件	○
		観光案内所利用者延数	37,800人	21,507人	×

第7次振興計画・基本計画の振り返り

4 うるおう『快適に暮らせるまち』

施策目標の達成率:57.6%（指標数33、達成数19）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
4-1-1	土地利用の適切な規制	市内事業者等による無届の土地売買取引件数	0件	0件	○
4-1-2	地籍調査の推進	累計進捗率	1.1%	1.1%	○
4-2-1	魅力的な景観づくりの推進	自然・歴史・温泉等本市の特色を活かした景観が保たれていると感じている市民の割合	42%	40%	×
4-3-1	環境問題への対応と自然環境の保護	環境に関する苦情の未解決事案件数	1件	1件	○
4-4-1	温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進	上山市環境率先行動計画における温室効果ガス排出量	4,553t-co2	4,628t-co2	×
4-5-1	3Rの推進	ごみの資源化率	28%	23%	×
4-6-1	健全な森林づくり	民有林の森林施業面積	10ha	5ha	×
4-6-2	農地の多面的機能の保全管理	制度を活用して取り組む農業者団体数	40団体	41団体	○
4-7-1	誰もが利用しやすい公共交通の整備	市営バス利用者数	5,000人	5,518人	○
		市営予約制乗合タクシー利用者数	8,900人	6,322人	×
4-8-1	道路環境の充実	補助制度の活用団体数	14団体	13団体	×
		道路への住民満足度	33%	21%	×
4-9-1	利用しやすい都市施設の整備	公園の満足度	31%	18%	×
4-10-1	安全な住宅環境づくりへの支援	空家等の利活用件数	15件	22件	○
4-10-2	快適な住宅環境の整備	戸建て住宅着工戸数	87件	86件	×
		共同住宅・長屋着工戸数	45戸	50戸	○
		市営住宅入居率	88%	96%	○
4-11-1	河川環境の保全	河川愛護活動団体数	14団体	14団体	○
		河川一斉清掃の参加者数	6,000人	5,408人	×
4-12-1	安全で良質な水の安定供給	上水道有収率	80%	77%	×
4-12-2	下水道の普及促進と適正管理	公共下水道水洗化率	92.2%	92.5%	○
4-12-3	浸水被害の解消	浸水被害件数	0件	0件	○
4-13-1	ICTを活用した行政サービスの充実	電子申請の申請件数	13件	158件	○
4-14-1	自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化	自主防災組織等が行う防災・減災講座の実施件数	11件	20件	○
4-14-2	共助による避難支援体制の構築	避難行動要支援者新規登録者数	20人	49人	○
4-15-1	消防組織・体制及び施設の充実	火災件数	9件	8件	○
		搬送心肺停止事案における心肺蘇生実施率	60%	44%	×
4-15-2	消防団を中核とした地域防災力の充実強化	消防団員定数充足率	93%	82%	×
		教育訓練派遣団員数	10人	-	-
4-16-1	防犯対策と安全な消費生活の推進	人口10万人当たり犯罪認知件数	245.0件	139.9件	○
		相談事案における消費生活センター認知率	78%	86%	○
4-17-1	交通安全意識の高揚	人口1万人当たり交通事故発生件数	43件	39件	○
		交通安全教室の開催回数	85回	89回	○

第7次振興計画・基本計画の振り返り

5 つながる『みんなで創る住みよいまち』

施策目標の達成率:44.4%（指標数9、達成数4）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
5-1-1	多様な担い手が参画するまちづくりの推進	第7次上市市振興計画の市民浸透度	16.0%	18.4%	○
		NPO法人数	17団体	17団体	○
5-2-1	地域自治活動の育成	地域間交流地区数	16地区	34地区	○
5-3-1	人権が尊重される社会の実現	人権擁護委員による市内の啓発・相談回数	15回	4回	×
5-3-2	男女共同参画の推進	市の審議機関等における女性委員の割合	29%	25%	×
5-4-1	市民交流の拡充	わんぱく交歓研修会の参加人数	80人	-	-
		学生訪問団派遣人数	8人	-	-
		日本クアオルト協議会大会市民参加者数	10人	-	-
5-5-1	移住受け入れ環境の整備	移住相談からの移住件数	5件	11件	○

第7次振興計画・基本計画の振り返り

6 すずめる『施策実現のための行政運営』

施策目標の達成率:72.7%（指標数11、達成数8）

施策番号	施策名	指標	令和3(2021)年度		目標達成状況
			目標	実績	
6-1-1	市民が行政情報を知りやすく行政に参加しやすい環境の充実	市民意識調査で行政から必要とする情報を得られていると思う割合	23.0%	20.8%	×
		SNSの登録者数	650人	4,634人	○
6-1-2	シティプロモーションの推進	ファンクラブ会員数	1,500人	2,807人	○
		ふるさと納税寄附件数	80,000件	279,911件	○
6-2-1	効率的な行政運営の推進	第7次上山市振興計画に基づく市職員マネジメント浸透度	75%	58%	×
		山形連携中枢都市圏構想における事務事業数	10事業	38事業	○
6-2-2	人員の適正管理	人口1万人当たりの職員数(普通会計)	100人	99人	○
6-3-1	持続可能な財政の構築	財政調整基金残高	8億円以上	15億円	○
		市債残高減少額	3億円以上	15億円	○
		市税収入	35億円	35億円	○
6-4-1	職員の採用、研修及び人事評価	仕事上で工夫や改善をしている職員の割合	81.0%	77.4%	×

第8次上山市振興計画策定に係る市民意識調査結果について

調査結果

調査概要

- ・ 調査対象：住民基本台帳を基に無作為抽出した年齢16歳以上の市民2,000人
- ・ 調査票：郵送による配布・回収ならびにオンライン上の回答フォームにより受付
- ・ 調査票配布期間：令和5(2023)年2月24日～3月17日
- ・ 有効回答数：718件（有効回答率 35.9%）
 - *うち郵送による回答：533件、74.2% オンラインによる回答：185件、25.8%

要 旨

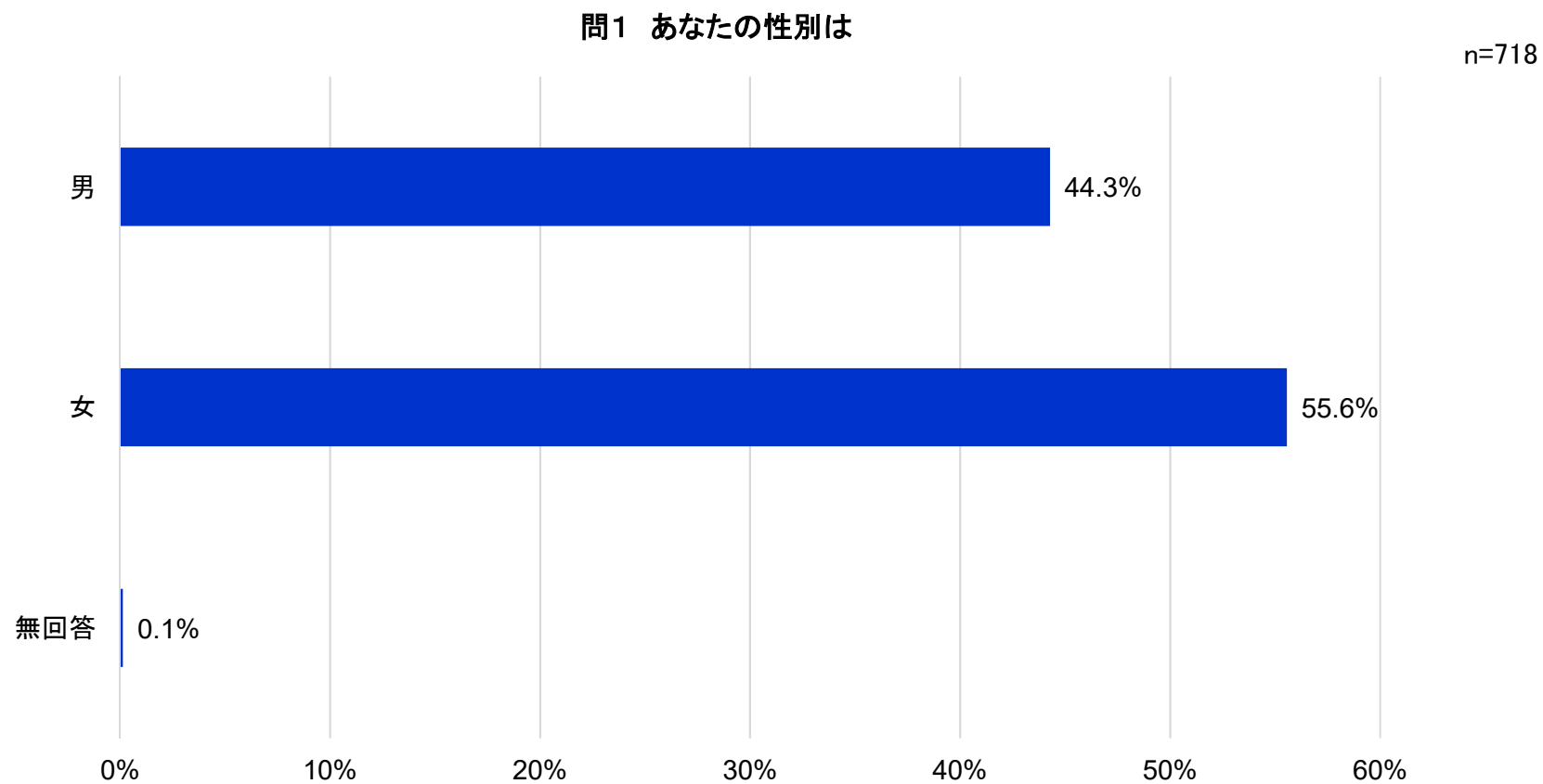
- 60%を超える市民が、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と思っている(p10)。その理由は、「生まれ育ったところだから」「特に他のまちに移り住む必要もないから」とする市民が多い(p11)。
- 他へ移り住みたいと思っている理由では、「娯楽施設がない」「買い物が不便」「交通の便が悪い」「地域とのつながりがわずらわしい」ことなどが多い(p12)。
- 「周辺の自然環境」、「工場や車などの振動や騒音等」、「ゴミやし尿処理状況」の満足度が高い。他方、「公共交通機関」、「子供の遊び場や公園等の整備状況」、「道路の整備状況」は満足度が低い(p13)。
- ほとんどの市民は、地域で何らかのつきあいをしたいと思っている(p14)。特に、近隣の人々との日常的な付き合いをしたいと思っている市民が多い。(p15)。
- 約50%の市民は、自由に使える時間があったら自宅でゆっくり休みたいと思っている(p16)。高齢期では趣味やスポーツ、旅行を楽しみたいと思う市民が、仕事を続けたいと思う市民を上回っている(p17)。

要 旨

- 上山市の将来について、「自然・歴史・温泉を生かした観光のまち」がよいと考えている市民が多い(p18)。
- 人口を定着させるためには、地域に働く場所を確保することや、安心して子供を産み育てられる環境をつくることが大切だと思っている市民が多い(p19)。
- 「子どもを育てやすいまちづくり」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている市民が多い(p28)。その中でも、「子育て支援の充実(医療、保育等)」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている(p22)。
- 「温泉」「さくらんぼ、ラ・フランスなどの果物」を地域の魅力を高めるための地域の資源や資産として考える市民が多い(p29)。
- 「協創のまちづくり」を今後さらに進めるためには、まずは市がわかりやすい情報の提供に心がけることが必要だと思っている(p32)。
- 市役所から必要とする情報はおおむね得られていると考える市民が多い(p33)。その方法としては、市報かみのやま等が用いられている(p34)。

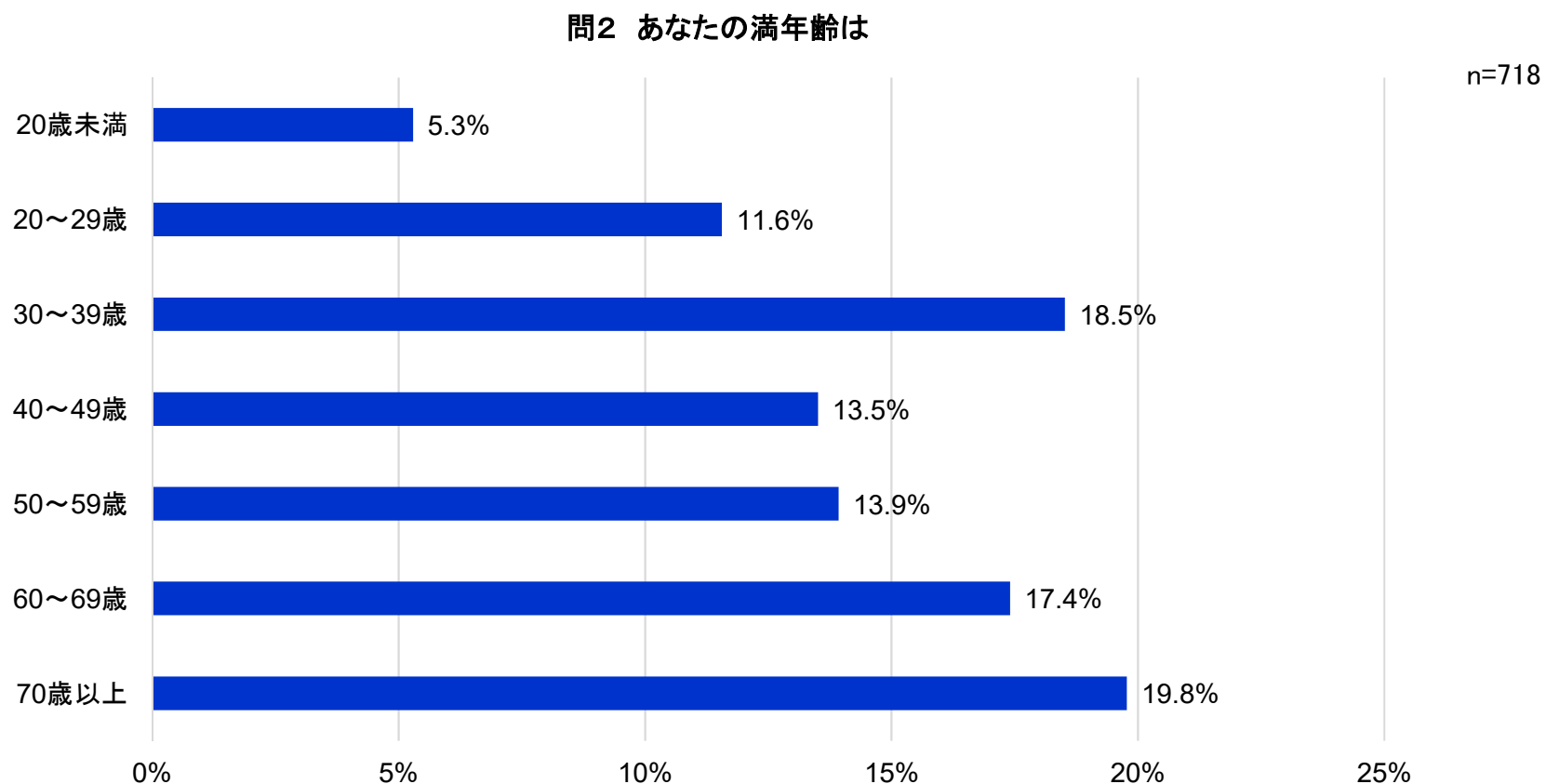
問1 あなたの性別は

回答者の性別は、女性の方がやや多い。



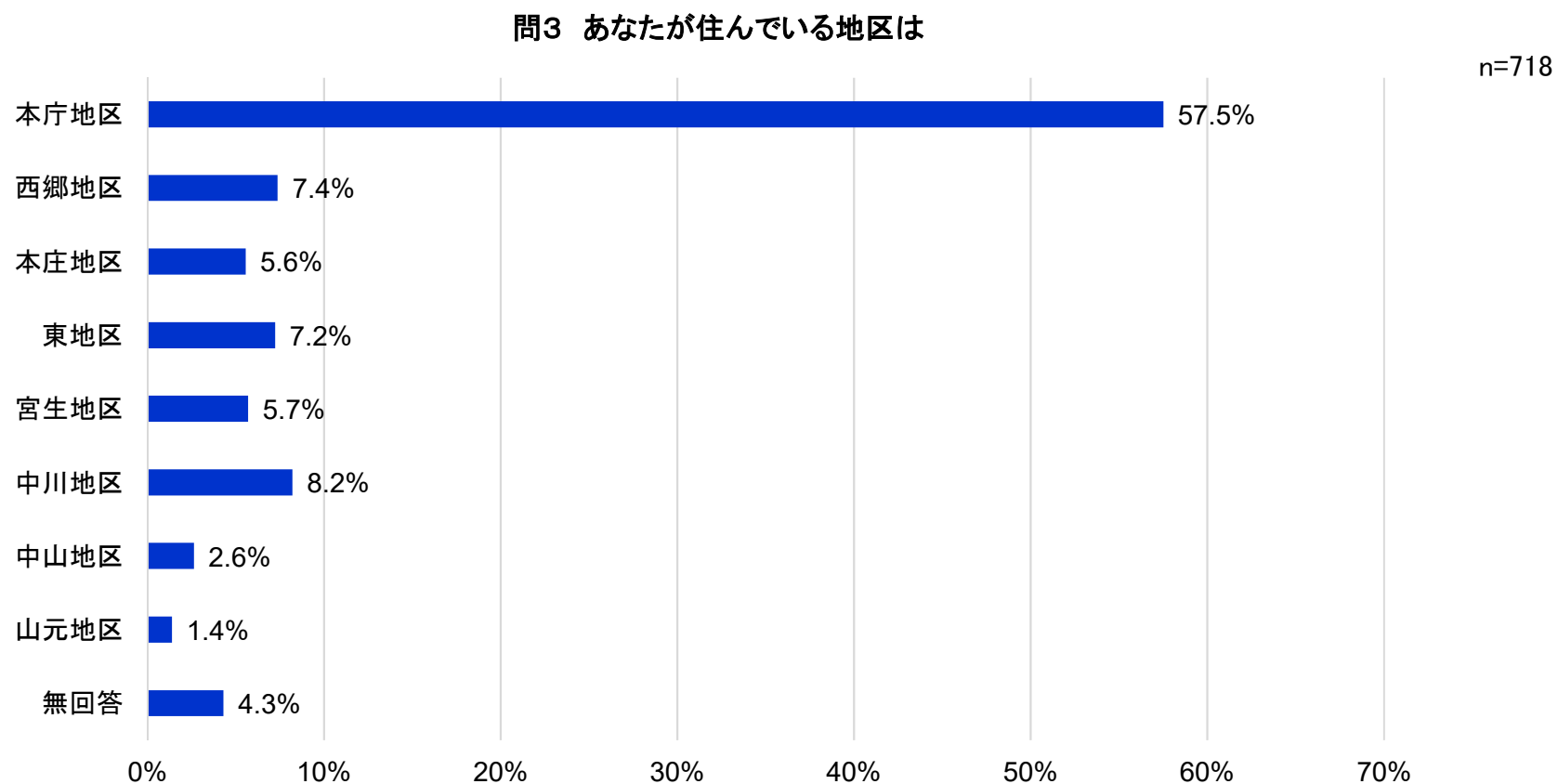
問2 あなたの満年齢は

回答者の年齢は、60歳以上が約3割以上を占めている。



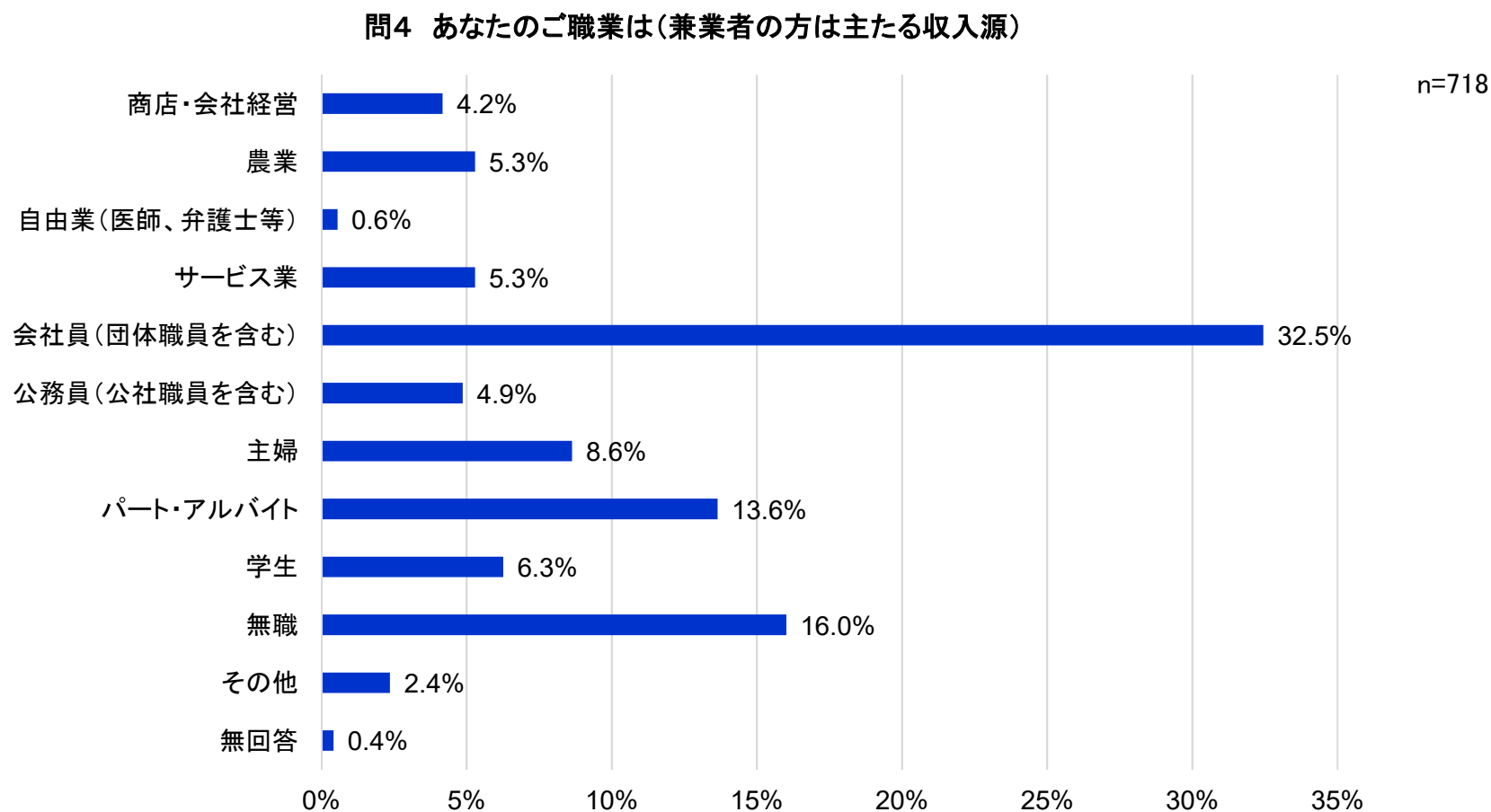
問3 あなたが住んでいる地区は

回答者の居住地は、本庁地区が約60%を占めている。



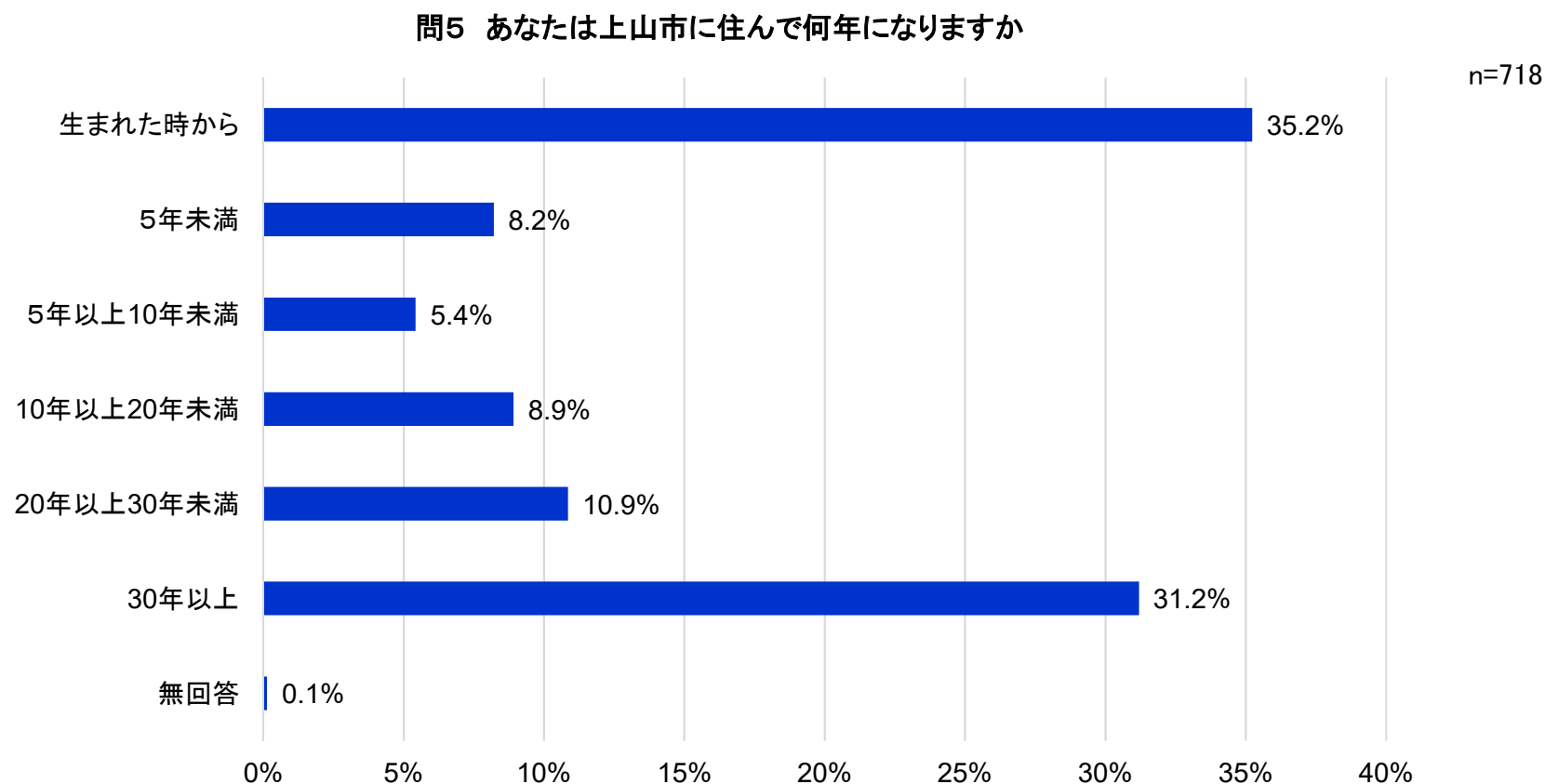
問4 あなたのご職業は(兼業者の方は主たる収入源)

回答者の職業は、会社員が約30%を占めている。



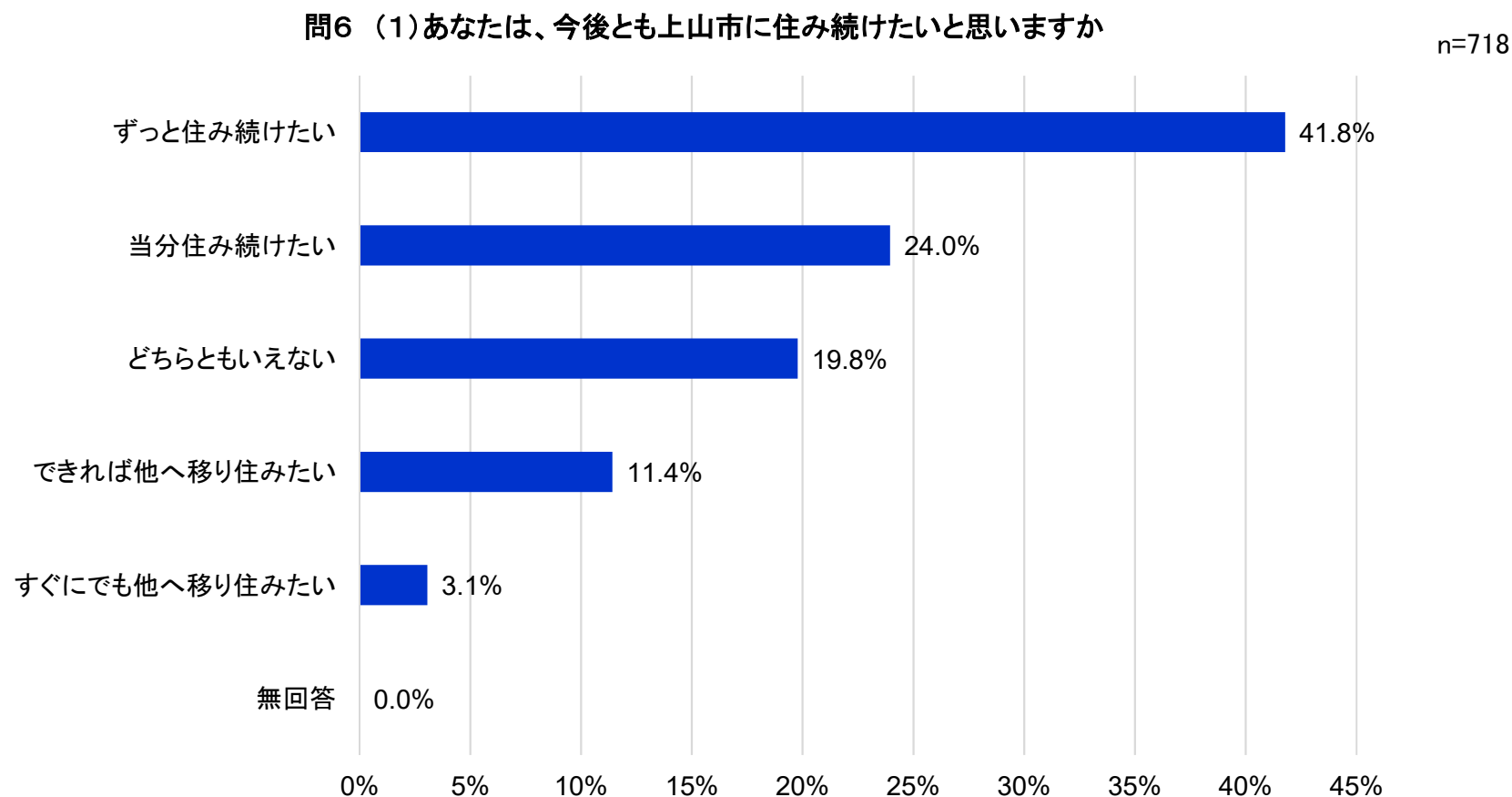
問5 あなたは上山市に住んで何年になりますか

回答者の居住歴は、「生まれた時から」と「30年以上」の合計が約70%。



問6 あなたは、今後とも上山市に住み続けたいと思いますか

60%を超える市民が、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と思っている。

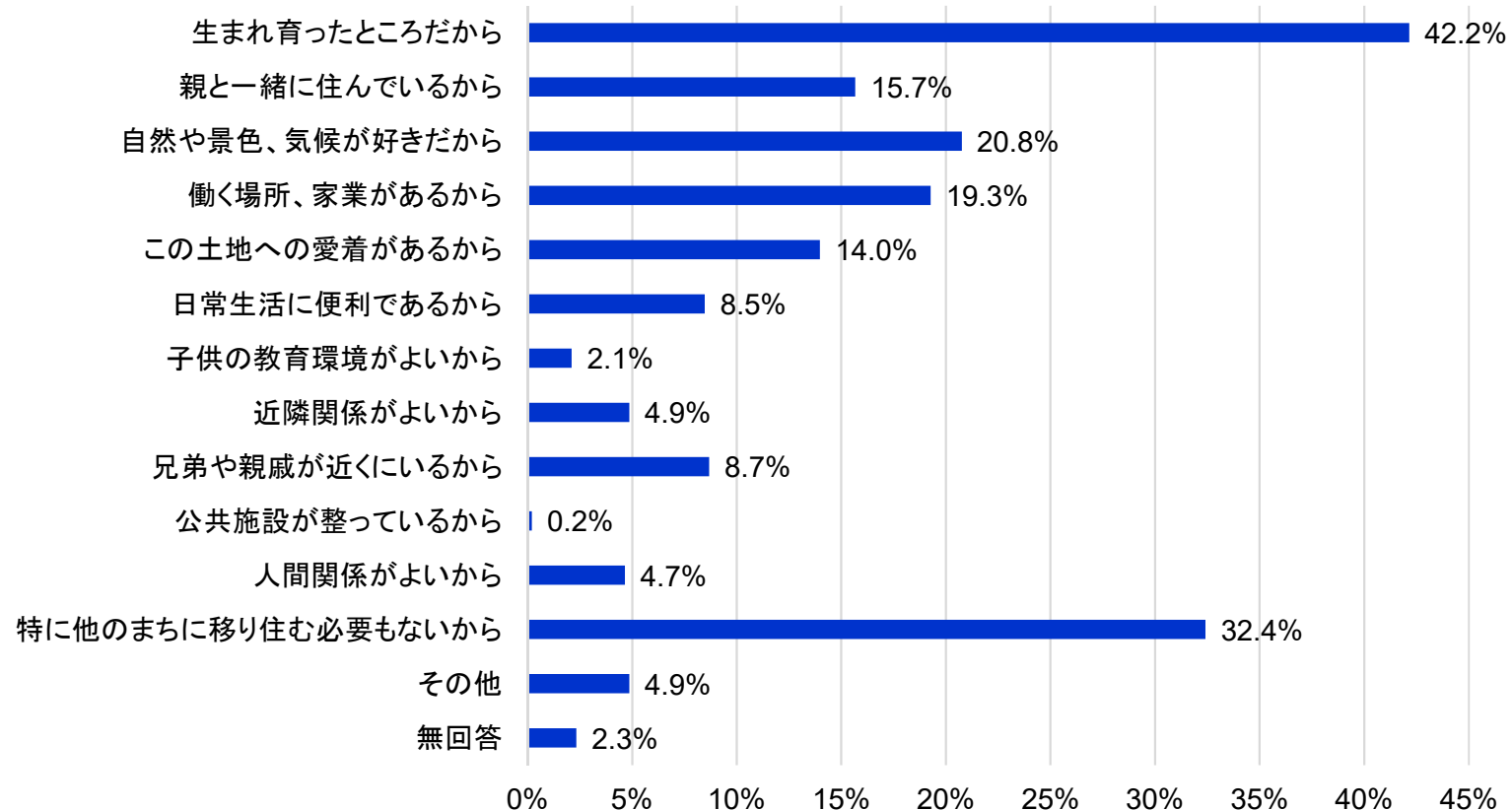


問6 あなたは、今後とも上山市に住み続けたいと思いますか

住み続けたいとした理由は、「生まれ育ったところだから」
「特に他のまちに移り住む必要もないから」とする市民が多い。

(2)(1)で「1.ずっと住み続けたい」「2.当分住み続けたい」とお答えの方におたずねします。
その理由を2つ以内で選んでください。

n=472

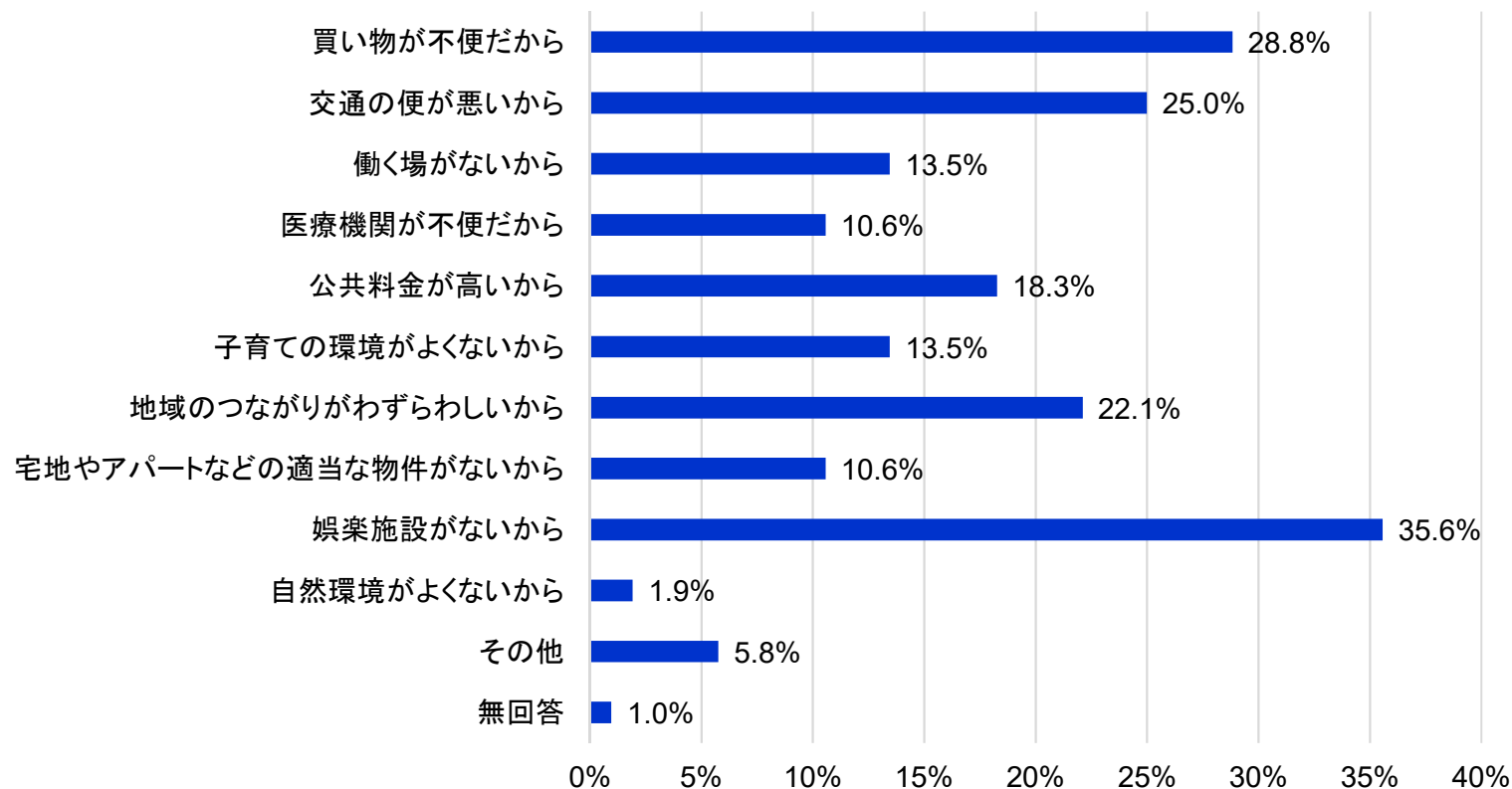


問6 あなたは、今後とも上山市に住み続けたいと思いますか

他へ移り住みたいとした理由は、「娯楽施設がない」「買い物が不便」「交通の便が悪い」が多い。他方、「地域とのつながりがわずらわしい」という理由も多い。

(3) (1)で「4.できれば他へ移り住みたい」「5. すぐにでも他へ移り住みたい」とお答えの方におたずねします。
その理由を2つ以内で選んでください。

n=104

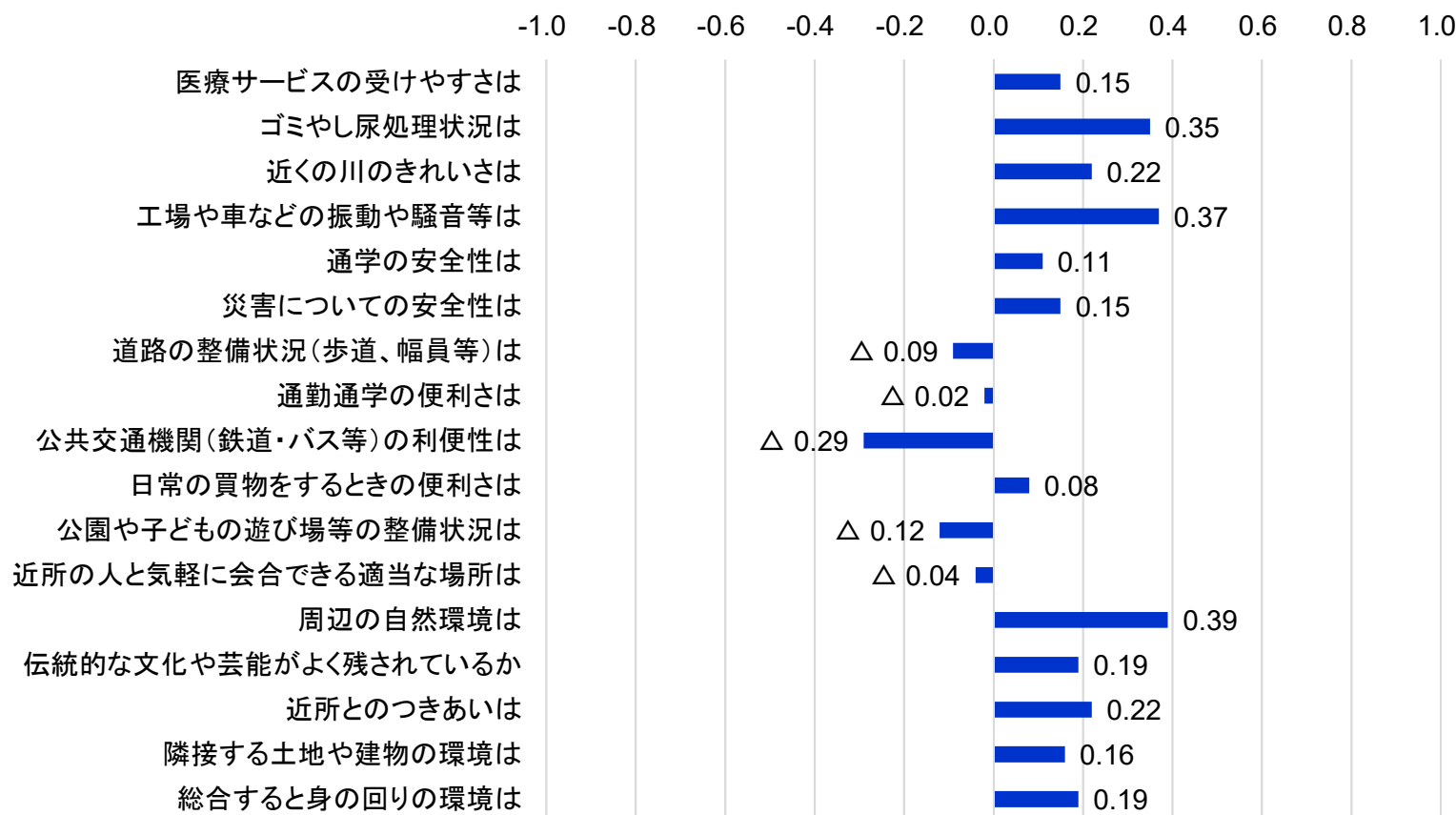


問7 次の項目について、日頃どのように感じていますか

「ゴミやし尿処理状況」、「周辺の自然環境」の満足度が高い。他方、「公共交通機関」、「子供の遊び場や公園等の整備状況」、「道路の整備状況」は満足度が低い。

問7 次の項目について、日ごろどのように感じていますか。該当する数字を1つ○で囲んでください。

n=718

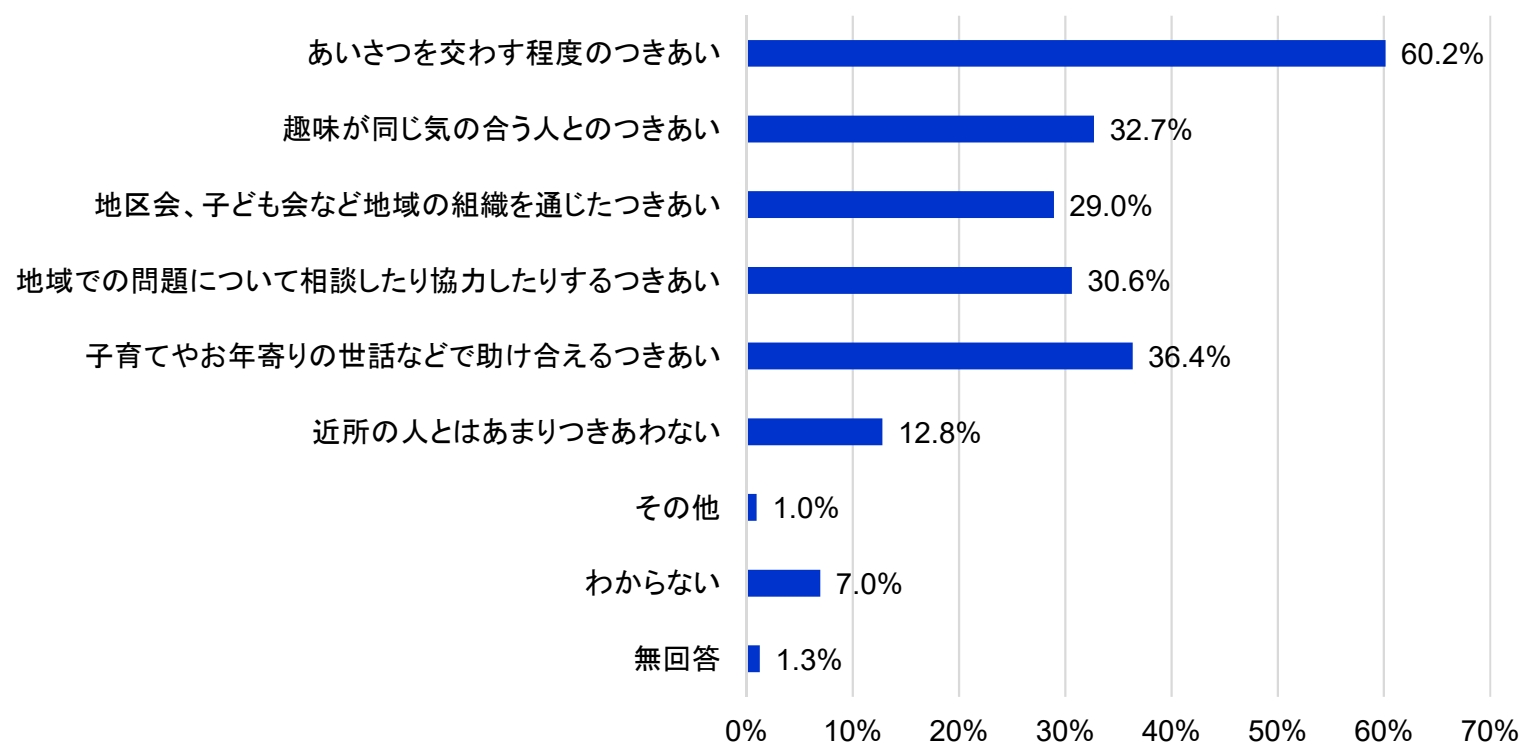


問8 あなたは、地域でどんなつきあいをしたいと思いますか

ほとんどの市民は、地域で何らかのつきあいをしたいと思っている。

問8 あなたは、地域でどんなつきあいをしたいと思いますか。次の中から、あなたの考えにあうものを3つ以内で選んでください。

n=718

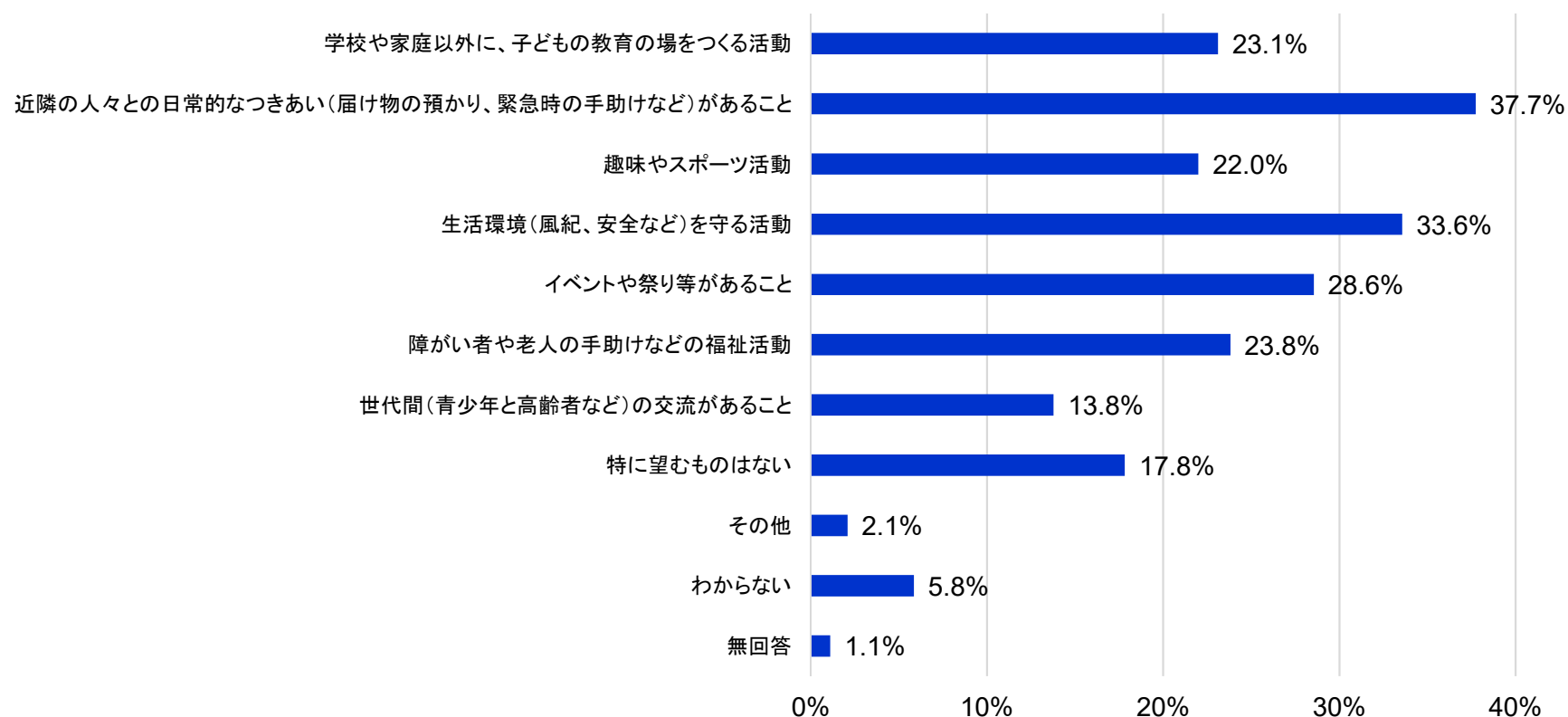


問9 あなたが地域に対して望むことは何ですか

半数以上の市民が、近隣の人々との日常的な付き合いをしたいと思っている。

問9 あなたが地域に対して望むことは何ですか。次の中から、あなたの考えにあうものを3つ以内で選んでください。

n=718

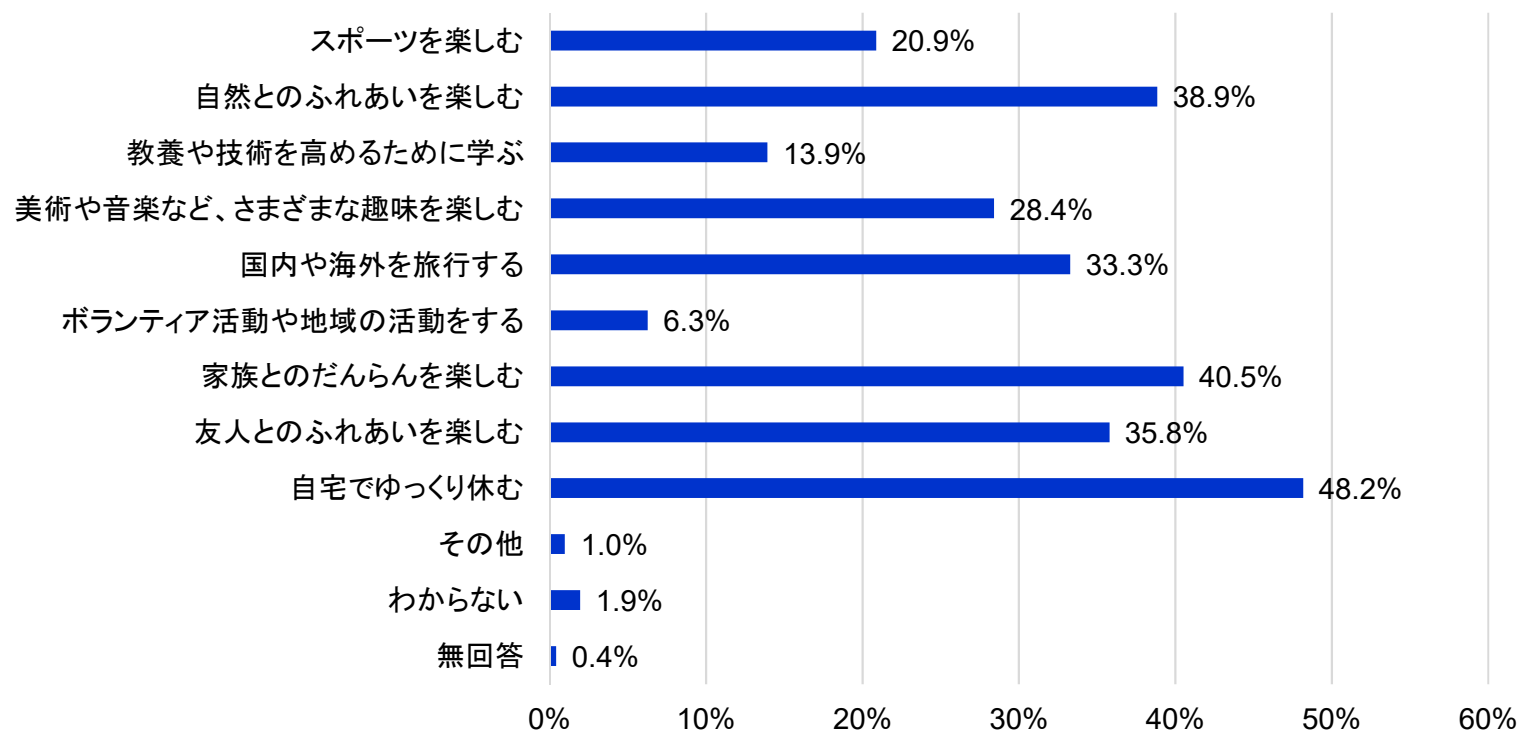


問10 自由に使える時間があったら、あなたはどのように過ごしたいと思いますか

約50%の市民は、自由に使える時間があったら自宅でゆっくり休みたいと思っている。

問10 自由に使える時間があったら、あなたはどのように過ごしたいと思いますか。
次の中から、あなたの考えにあうものを3つ以内で選んでください。

n=718

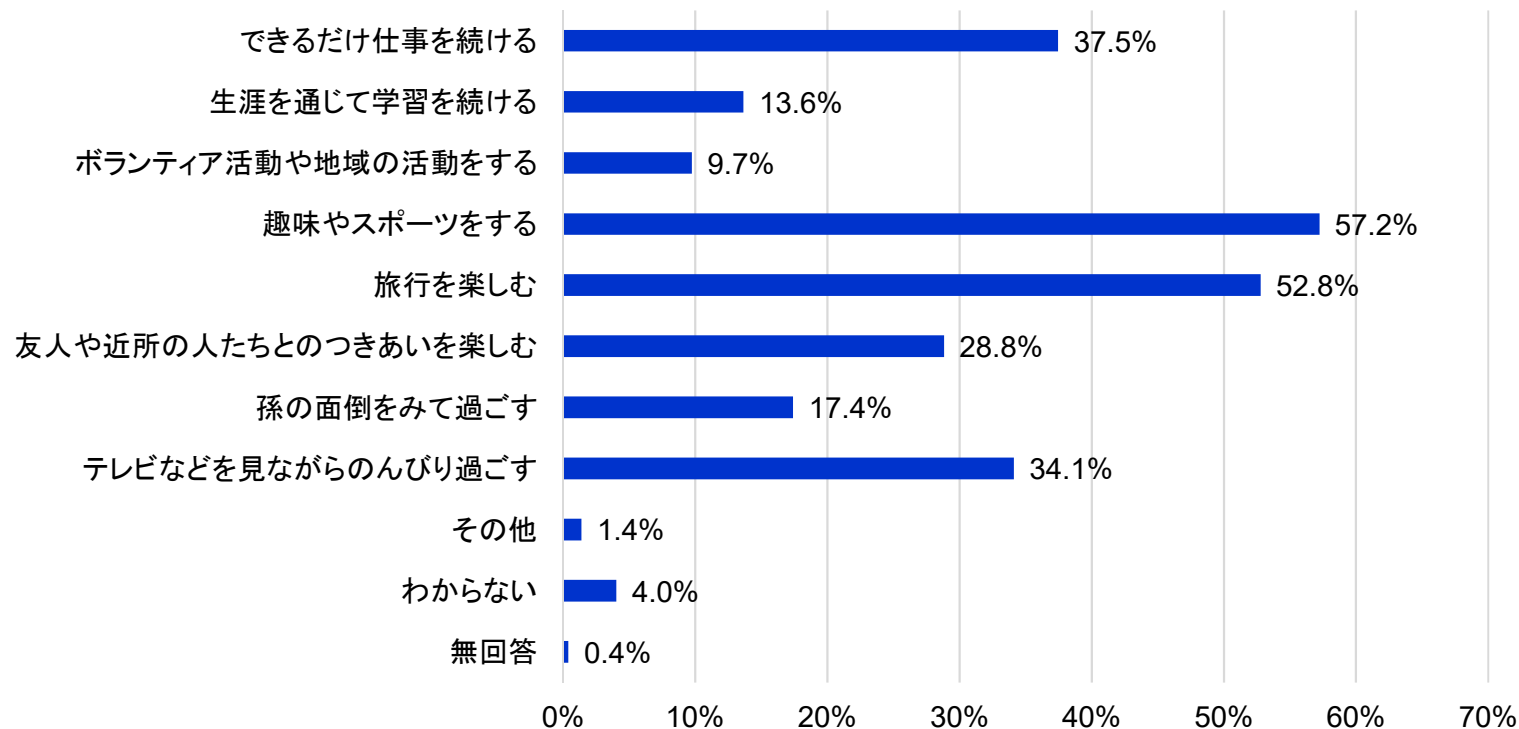


問11 あなたは、高齢期をどのように過ごしたいと思いますか

高齢期では趣味やスポーツ、旅行を楽しみたいと思う市民が、仕事を続けたいと思う市民を上回っている。

問11 あなたは、高齢期をどのように過ごしたいと思いますか。次の中から、あなたの考えにあうものを3つ以内で選んでください。

n=718

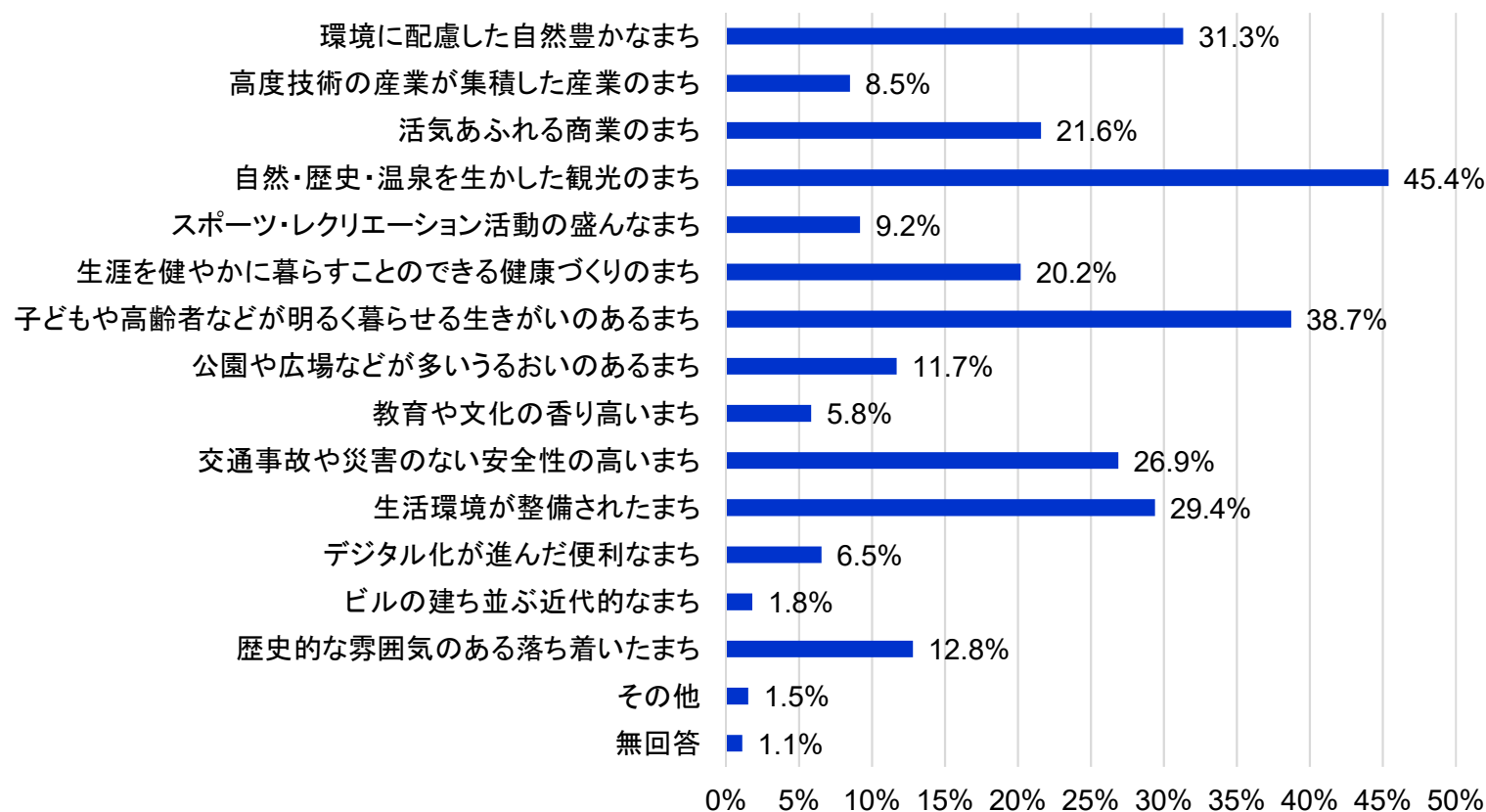


問12 上山市の将来は、どのようなまちになるのがよいとお考えですか

上山市の将来について、40%以上の市民が「自然・歴史・温泉を生かした観光のまち」がよいと考えている。

問12 上山市の将来は、どのようなまちになるのがよいとお考えですか。次の中から3つ以内で選んでください。

n=718

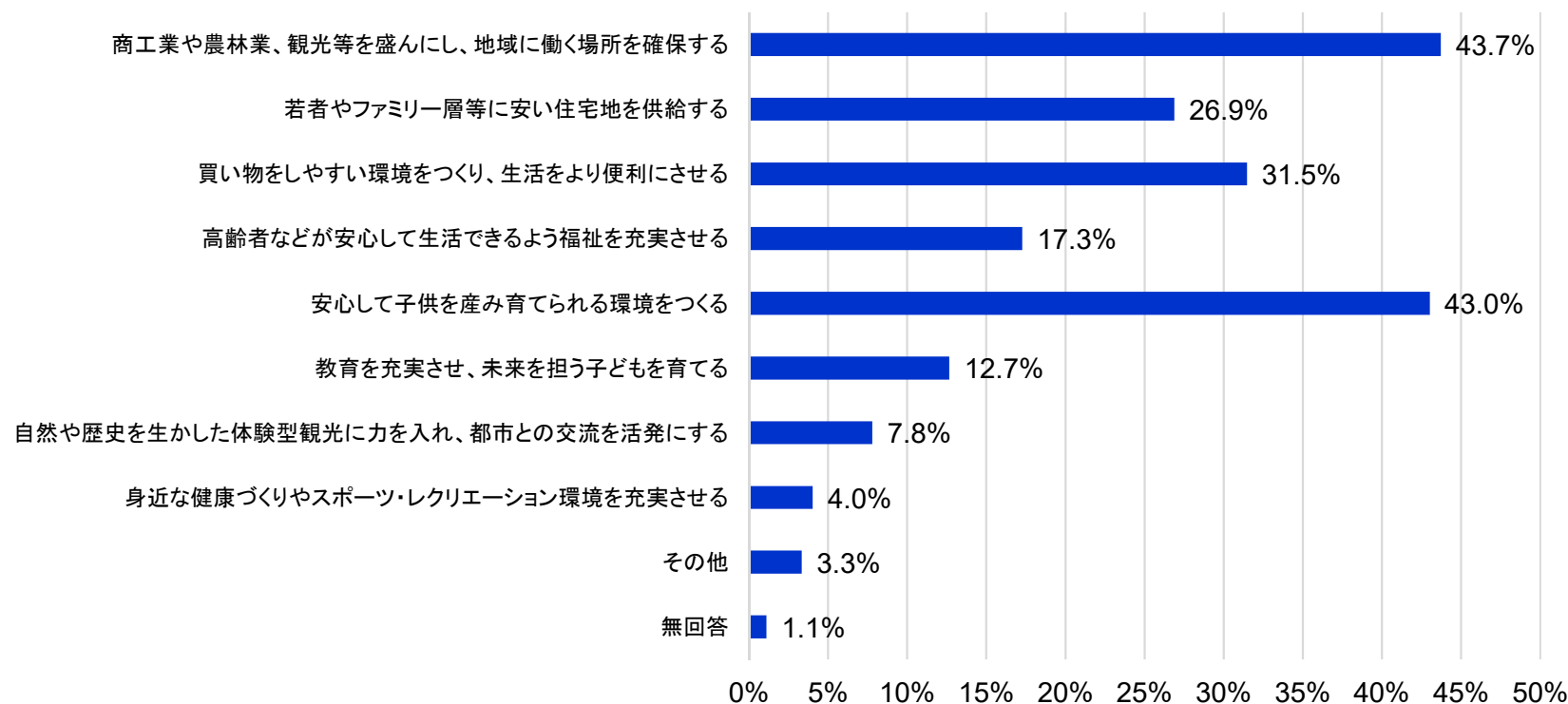


問13 あなたは、上山市に人口定着させるために何が大切だと思いますか

40%以上の市民が、人口を定着させるためには、地域に働く場所を確保することや、安心して子供を産み育てられる環境を作ることが大切だと思っている。

問13 あなたは、上山市に人口定着させるために何が大切だと思いますか。次の中から、あなたの考えにあうものを2つ以内で選んでください。

n=718

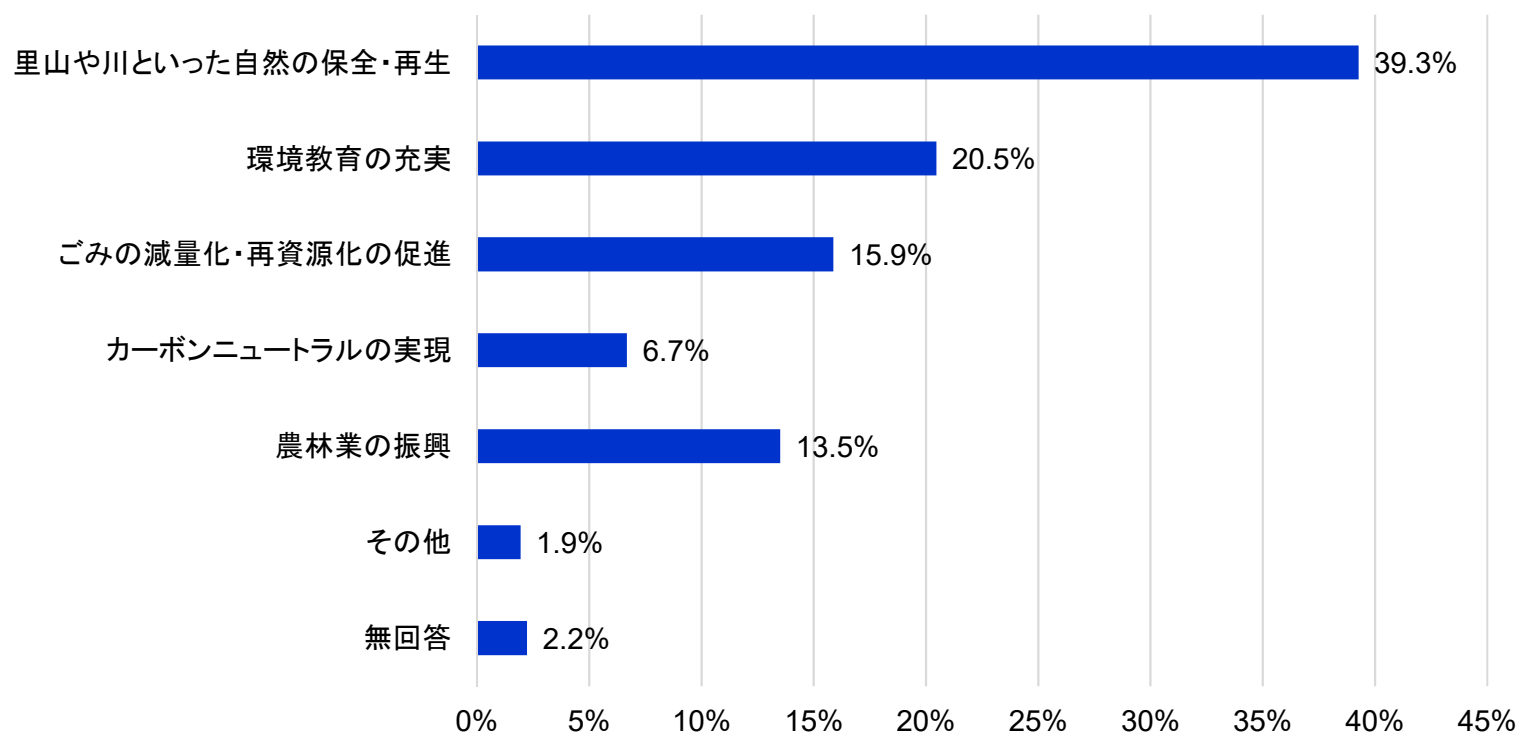


問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

自然環境については、「里山や川といった自然の保全・再生」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。

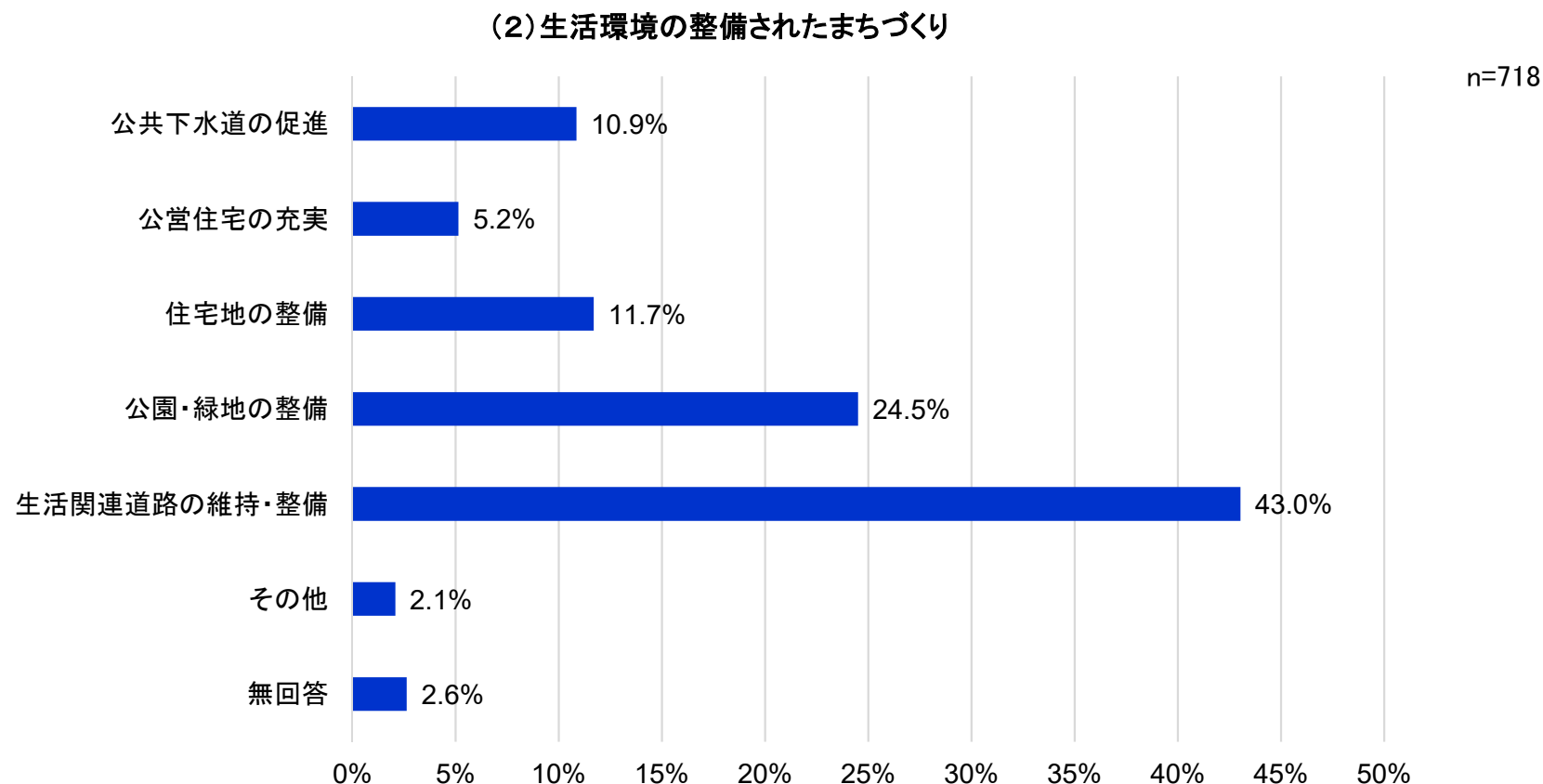
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか。
各項目ごとに1つずつ選んでください。(1)自然を守り、環境と共生するまちづくり

n=718



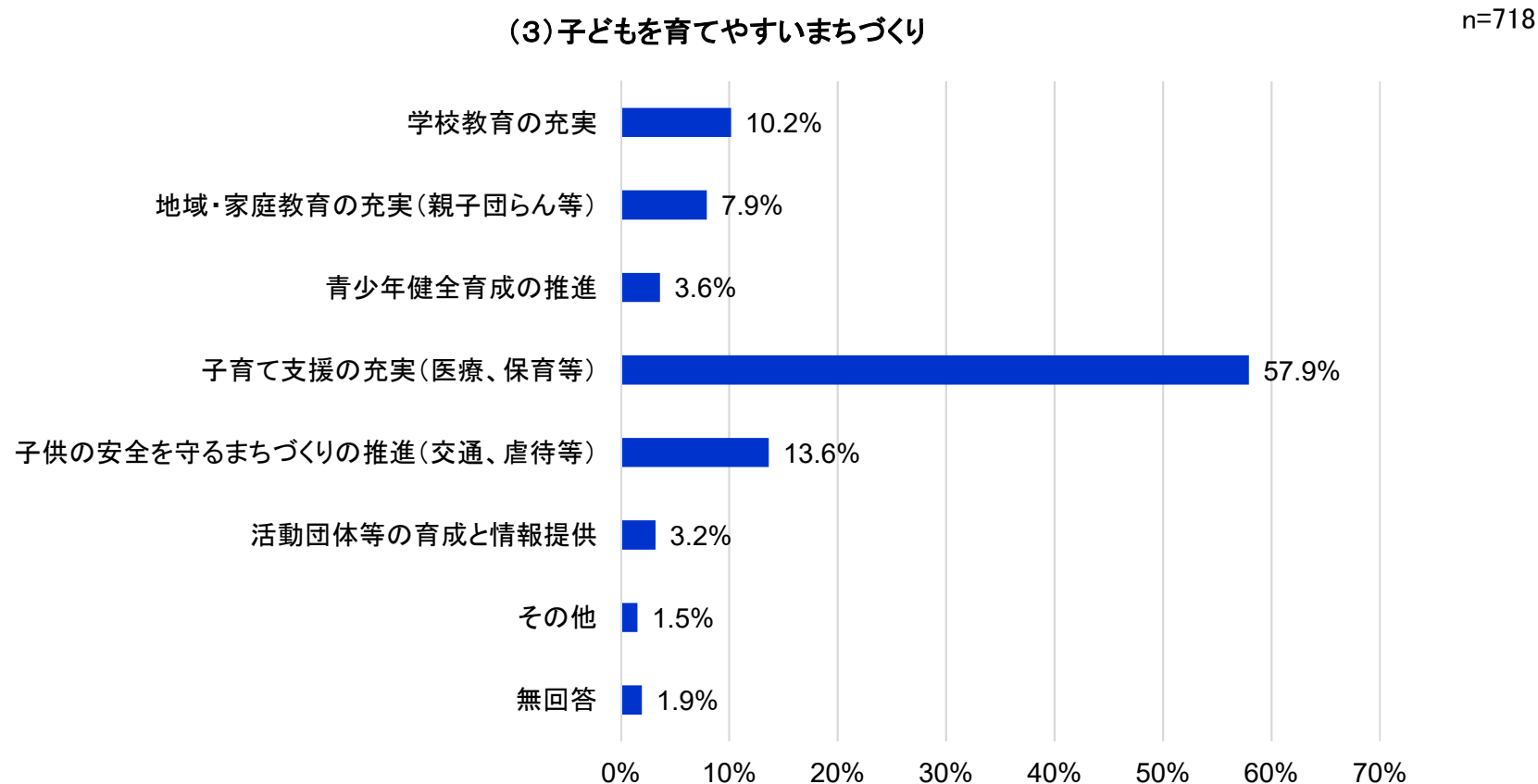
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

生活環境については、「生活関連道路の整備」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



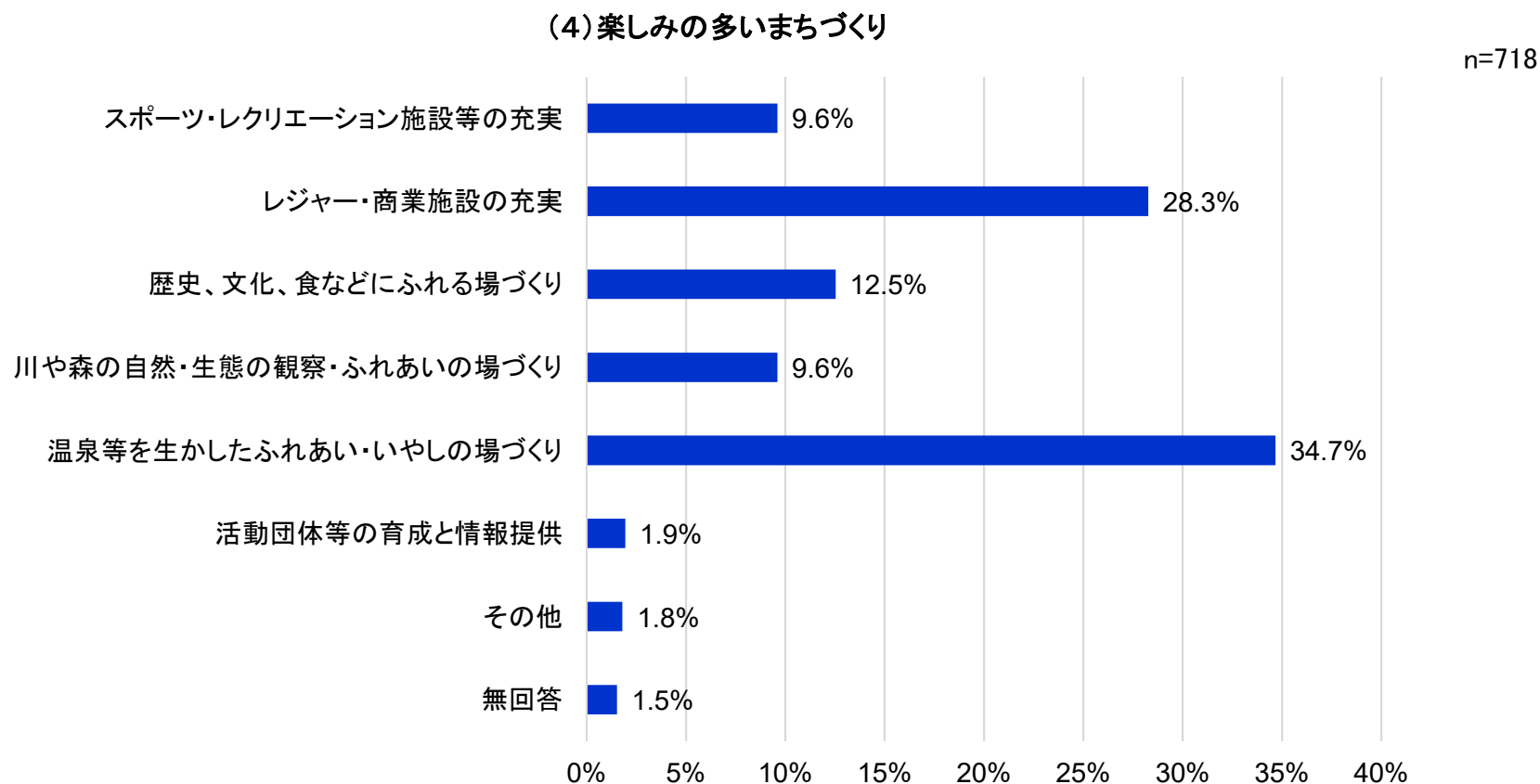
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

子育てについては、「子育て支援の充実(医療・保育等)」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



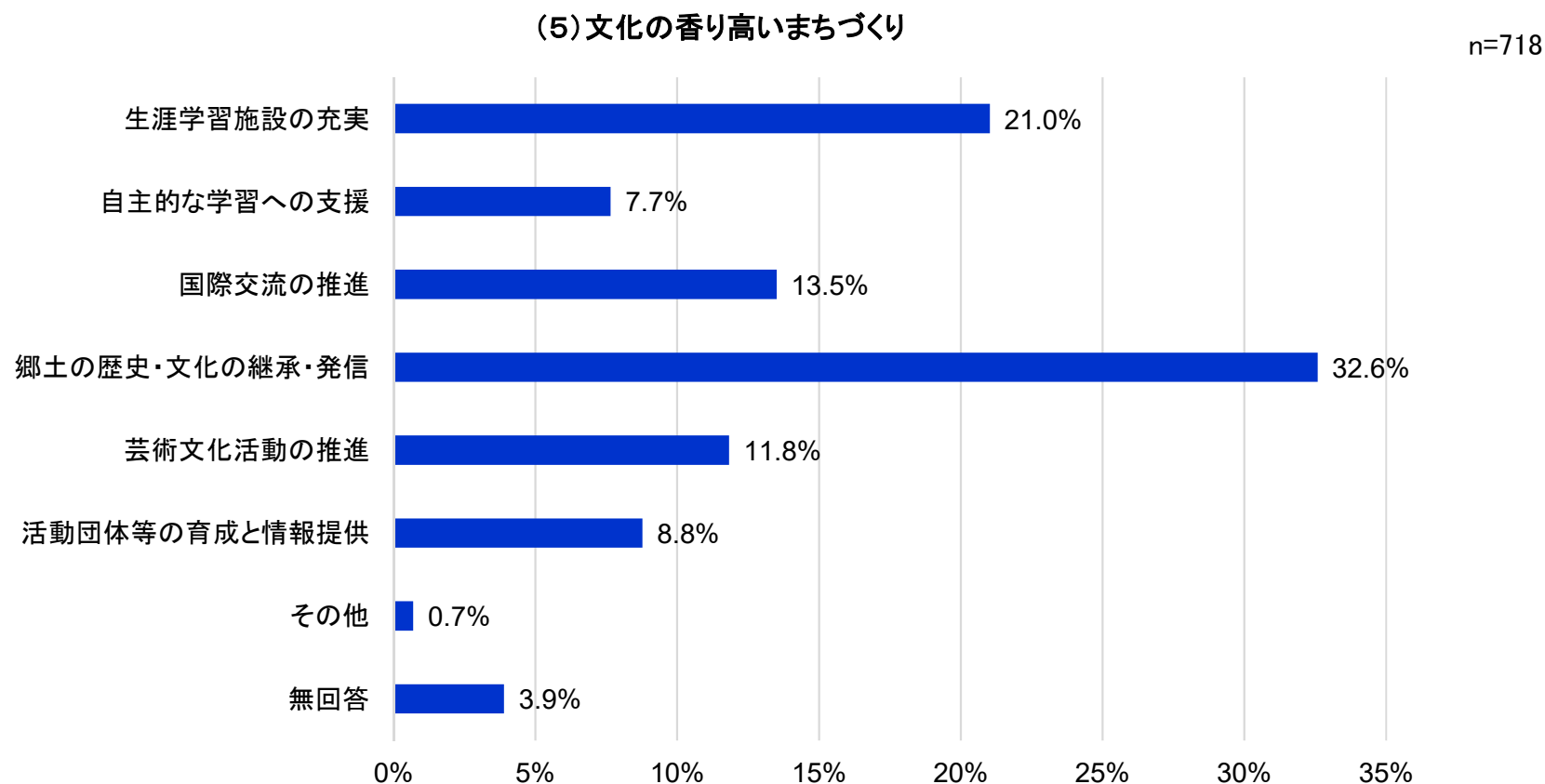
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

レジャーについては、「温泉等を生かしたふれあい・いやしの場づくり」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



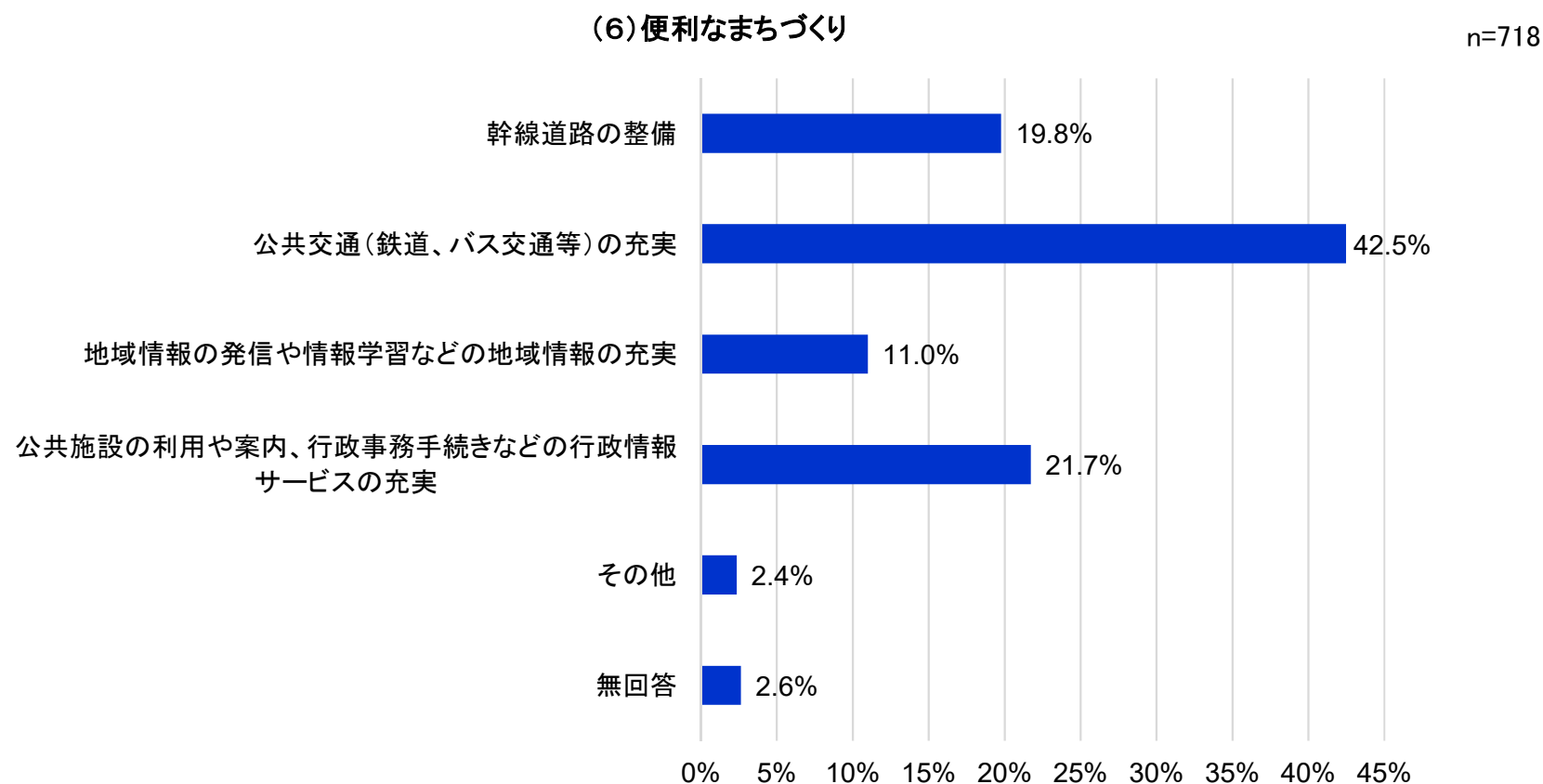
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

文化については、「郷土の歴史・文化の継承・発信」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



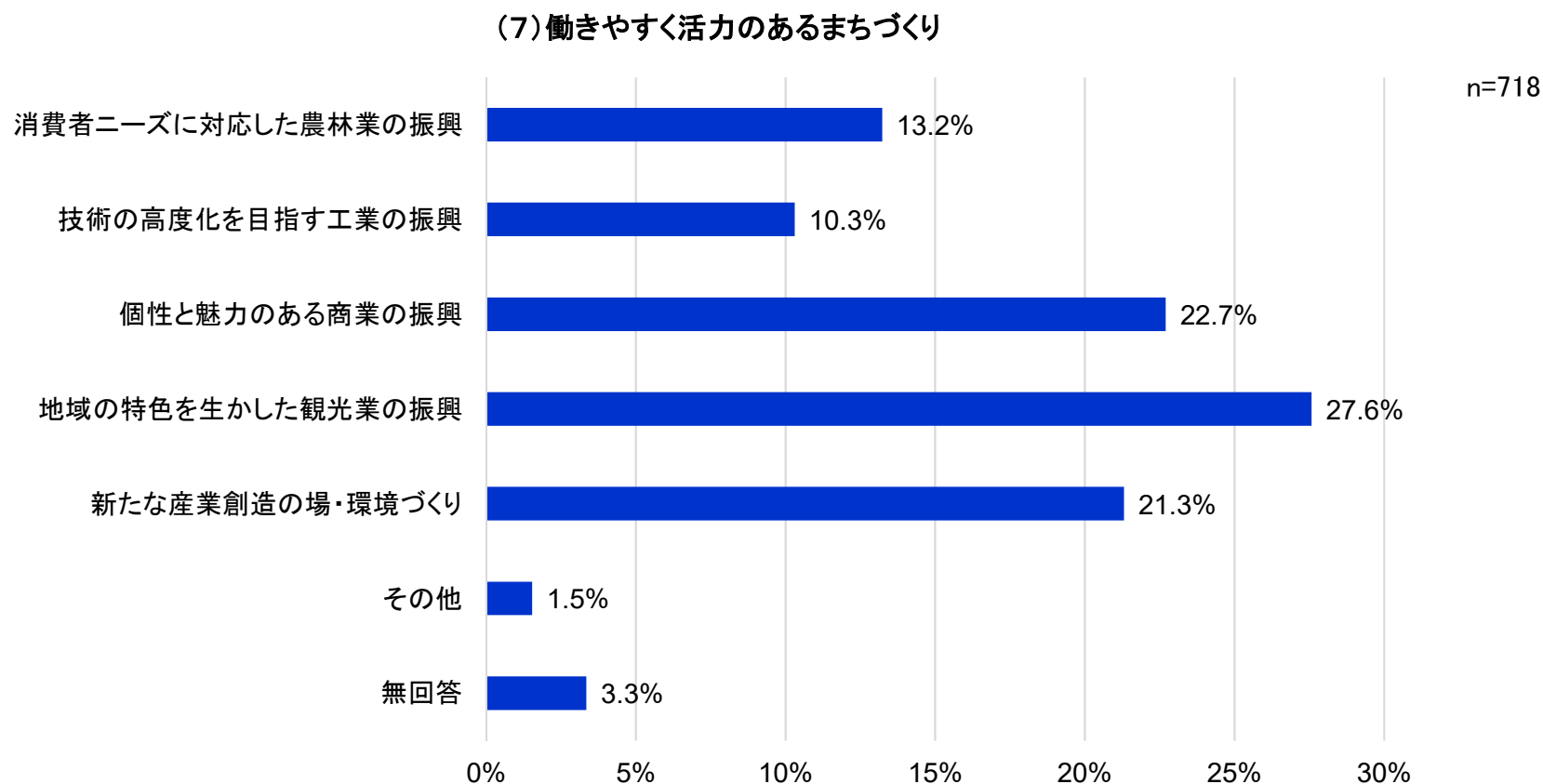
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

利便性については、「公共交通の充実」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



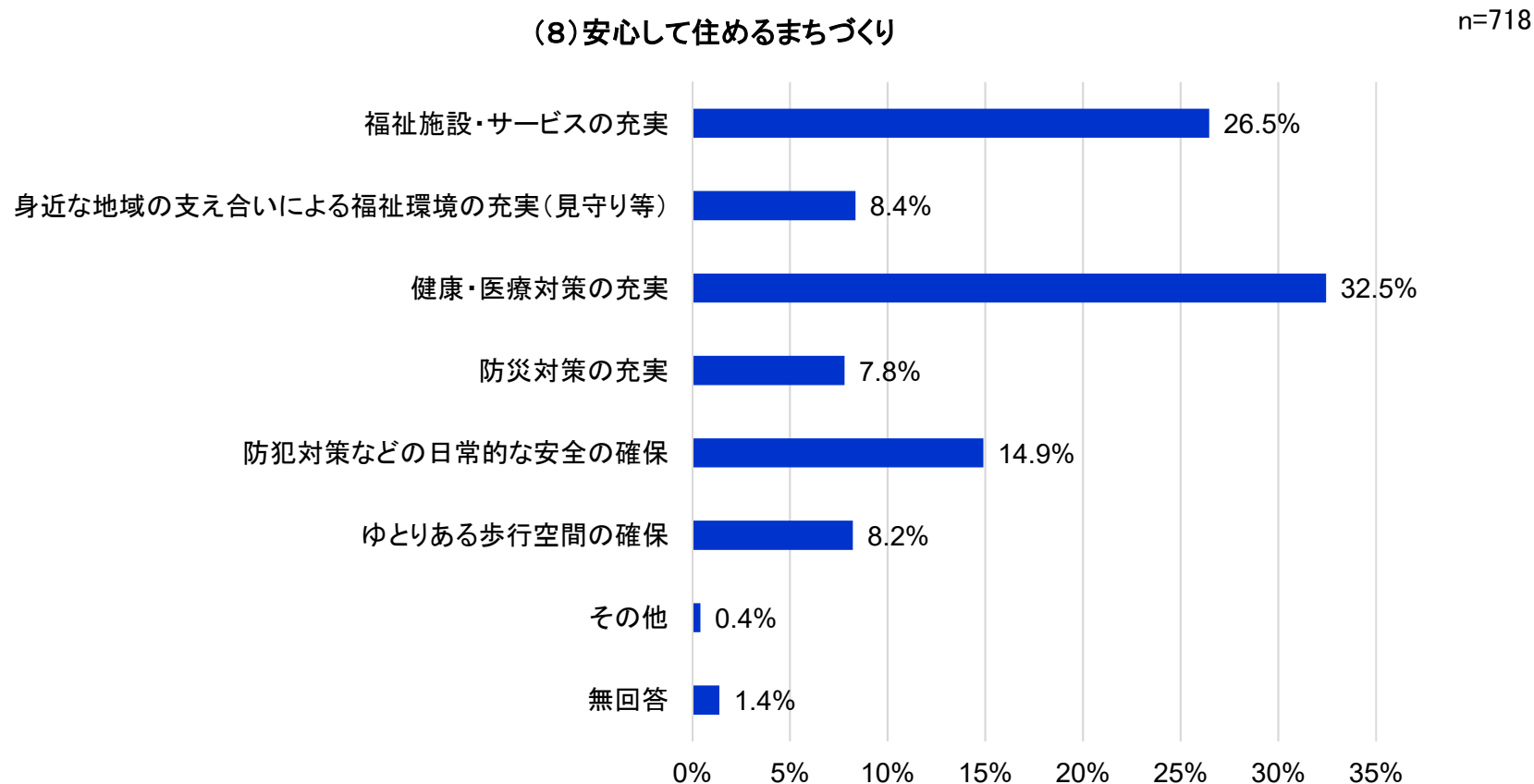
問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

活力については、「地域の特色を生かした観光業の振興」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

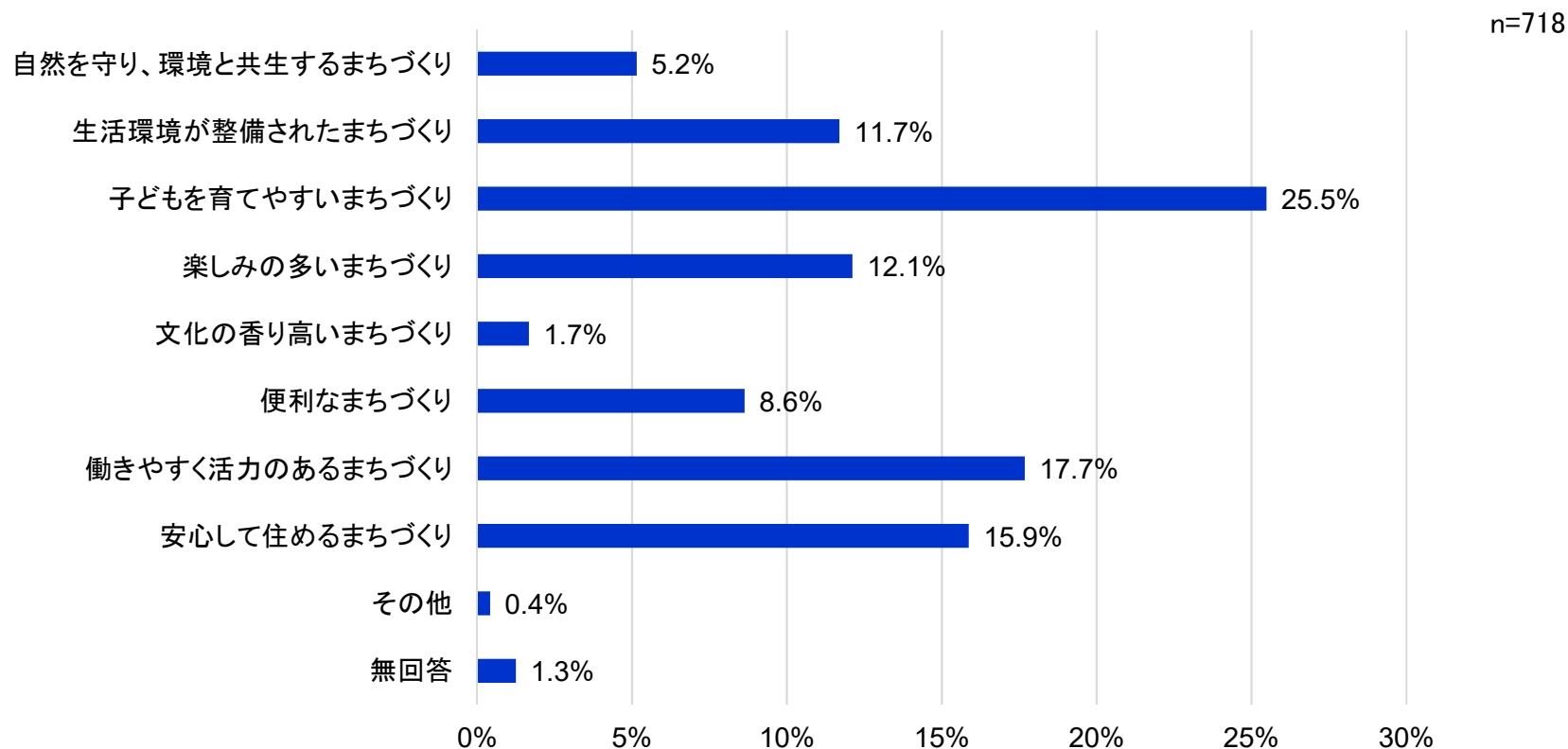
安心については、「健康・医療対策の充実」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。



問14 上山市のまちづくりを進める上で、何を重点的に整備していくことが望めますか

全体としては、「子どもを育てやすいまちづくり」に最も重点的に取り組んでほしいと考えている。

(9)(1)～(8)の中で特に重点的に進めるべき部門

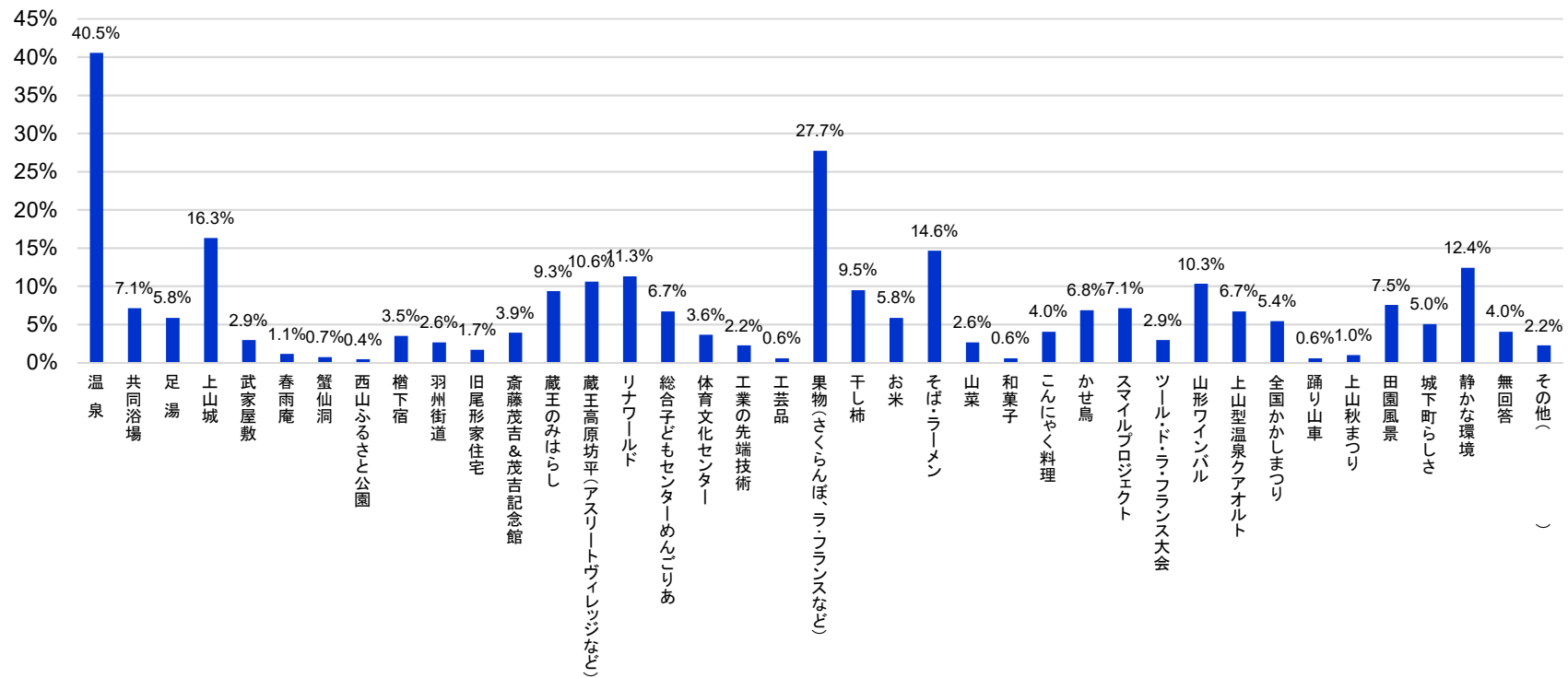


問15 あなたが住んでいる地域の魅力を高めるために考えられる、地域の資源や資産は何ですか

「温泉」「さくらんぼ、ラ・フランスなどの果物」を地域の資源や資産として考える市民が多い。

n=718

問15 あなたが住んでいる地域の魅力を高めるために考えられる、地域の資源や資産は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

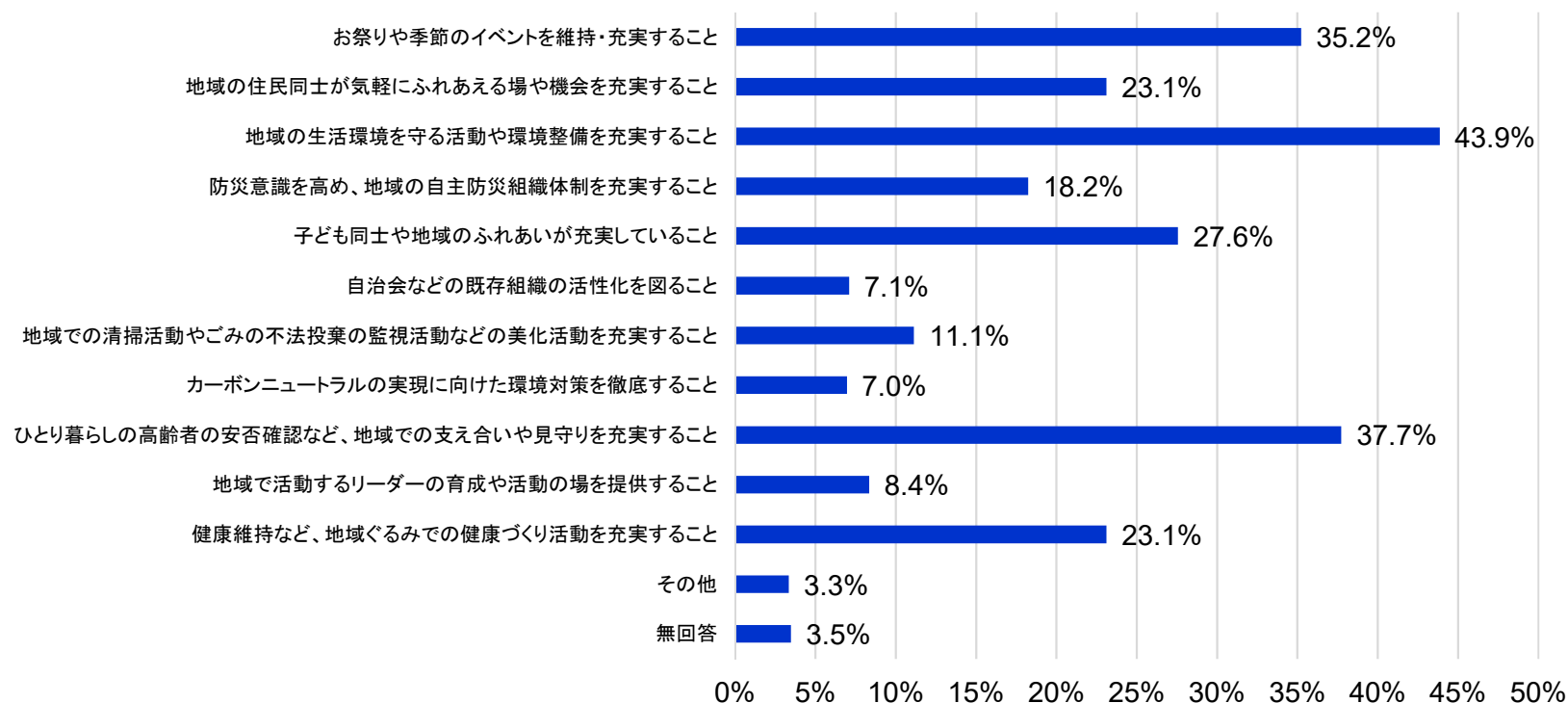


問16 あなたの住んでいる地域では、将来に向けて何を大切にしていけばいいと思いますか

生活環境を守る活動や環境整備、地域での支え合いや見守り、お祭りや季節のイベントを大切にしていけばいいと思う市民が多い。

問16 あなたの住んでいる地域では、将来に向けて何を大切にしていけばいいと思いますか。
次の中から考えにあうものを3つ以内で選んでください。

n=718

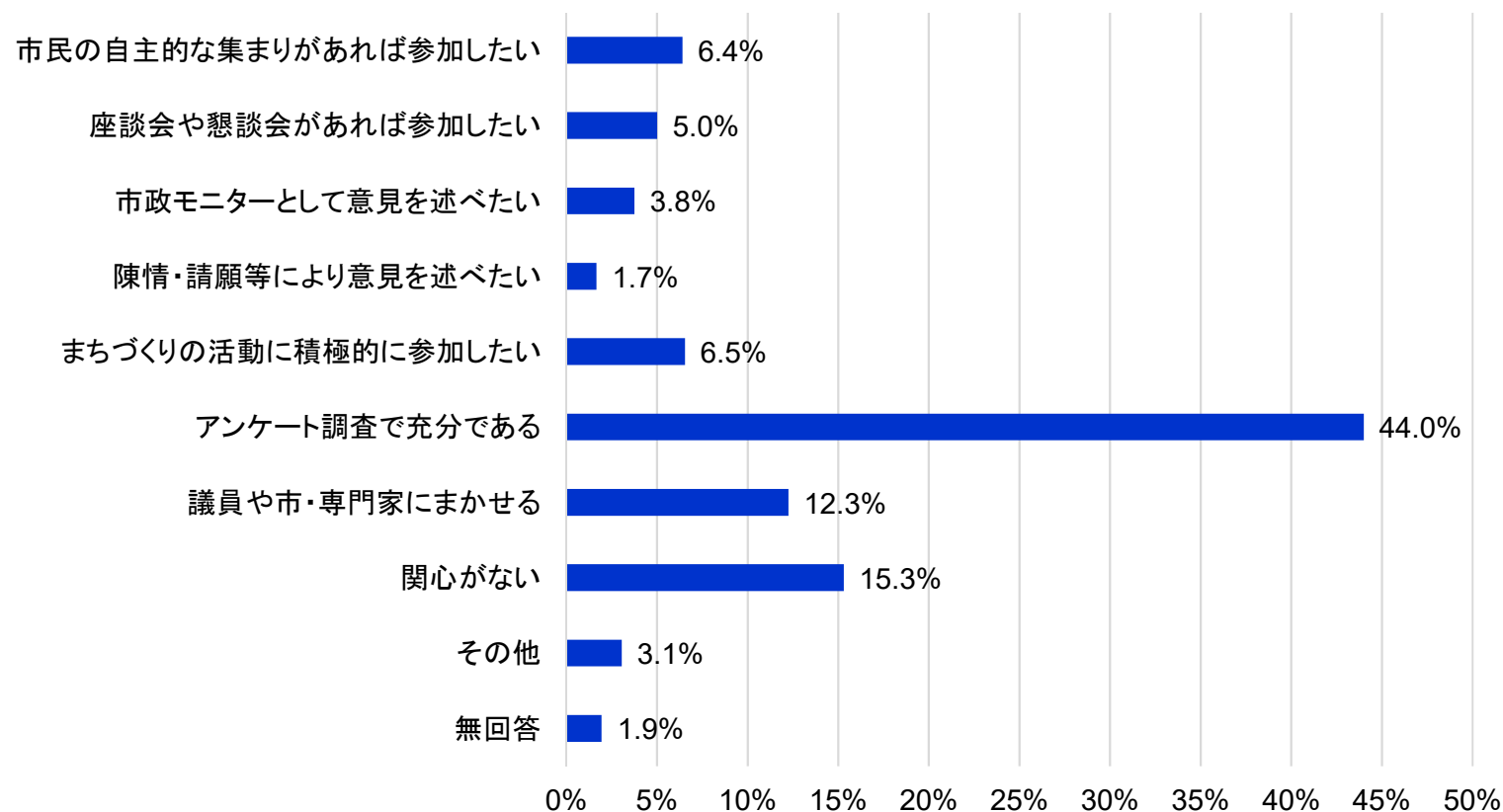


問17 市政への参加について、あなたはどのような考えをお持ちですか

市政への参加については、アンケート調査で充分と考える市民が多い。

問17 市政への参加について、あなたはどのような考えをお持ちですか。1つ選んでください。

n=718

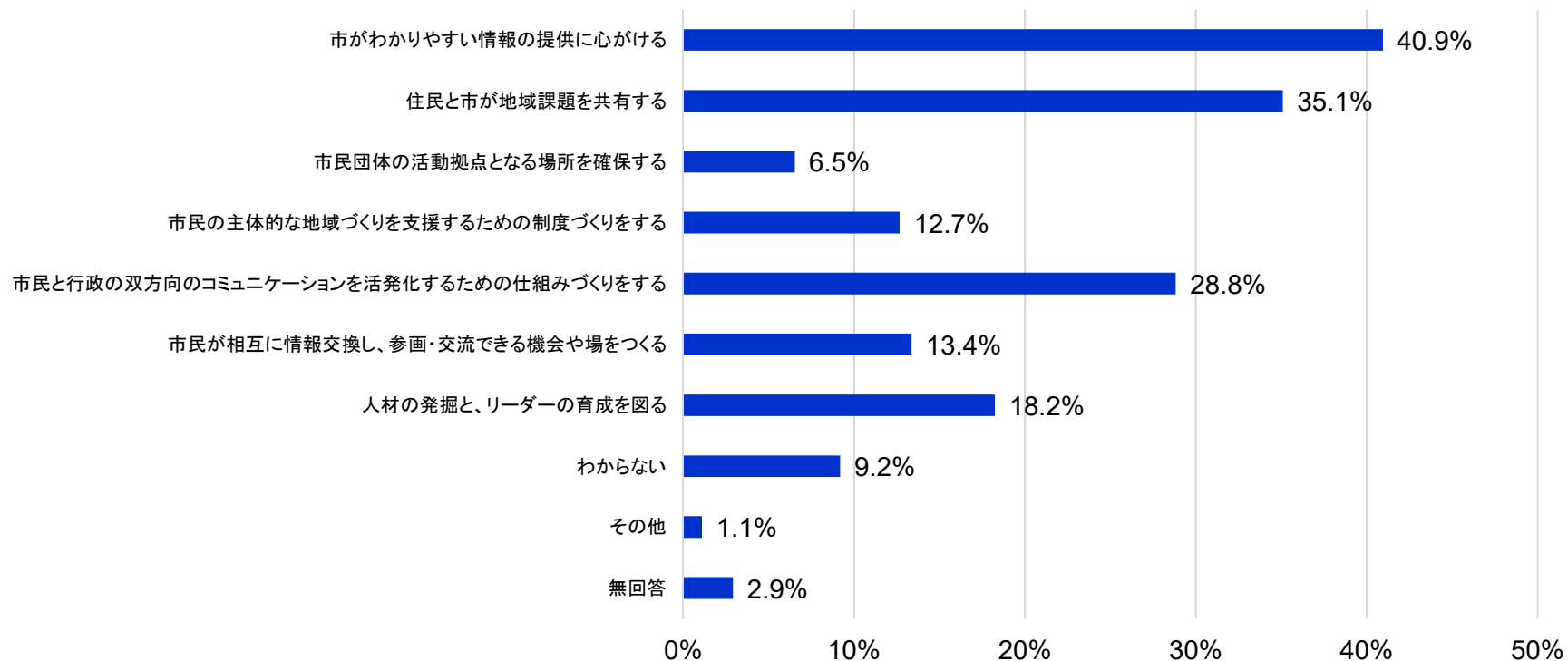


問18 「協創のまちづくり」を今後、さらに進めるためには、何が必要だと思いますか

「協創のまちづくり」を今後さらに進めるためには、まずは市がわかりやすい情報の提供に心がけることが必要だと思っている。

問18 「協創のまちづくり」を今後、さらに進めるためには、何が必要だと思いますか。
あなたの考えにあうものを2つ以内で選んでください。

n=718

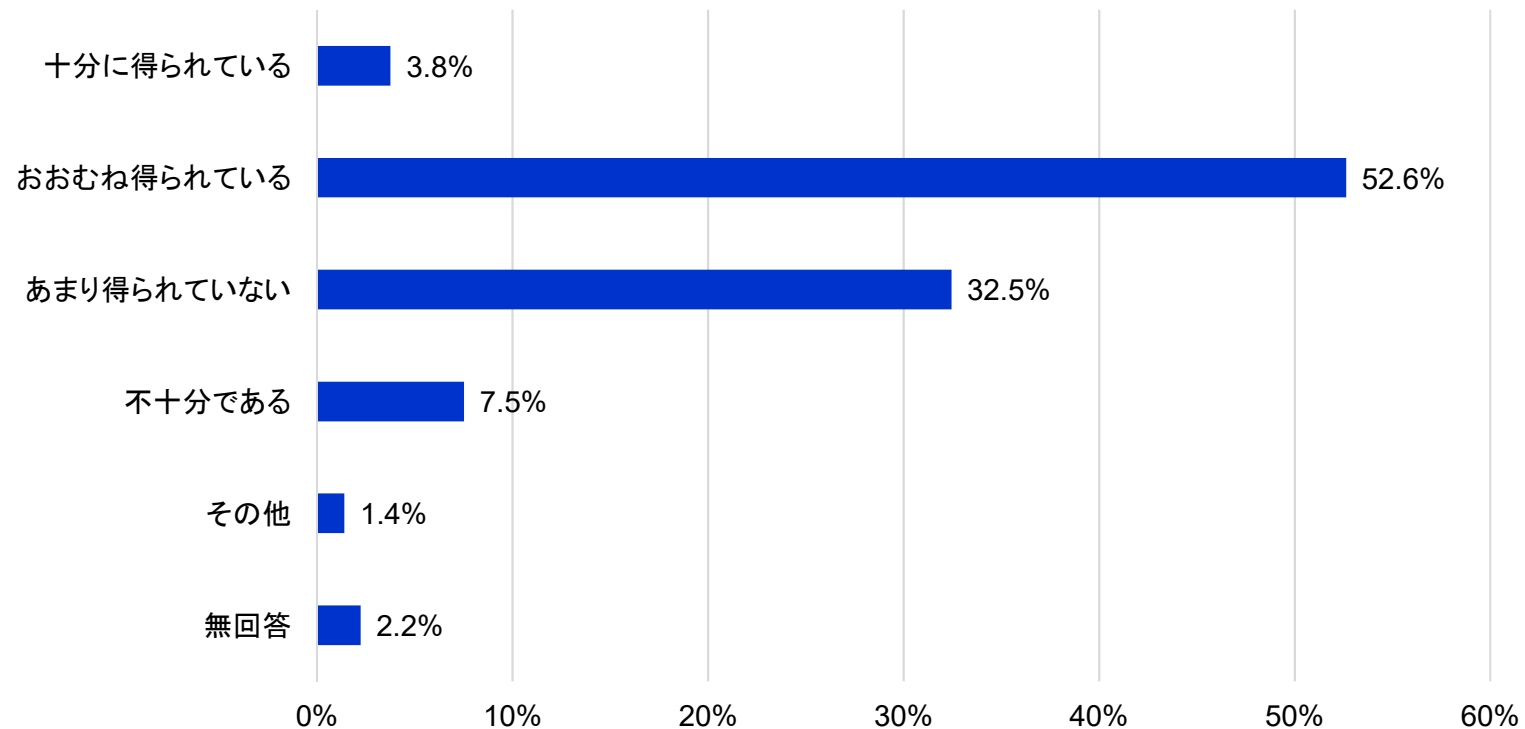


問19 市役所からの情報のうちで、あなたが必要とする情報は十分に得られていますか

半数以上の市民は、市役所から必要とする情報が得られていると考えている。

問19 市役所からの情報のうちで、あなたが必要とする情報は十分に得られていますか。
あなたの考えにあうものを1つで選んでください。

n=718

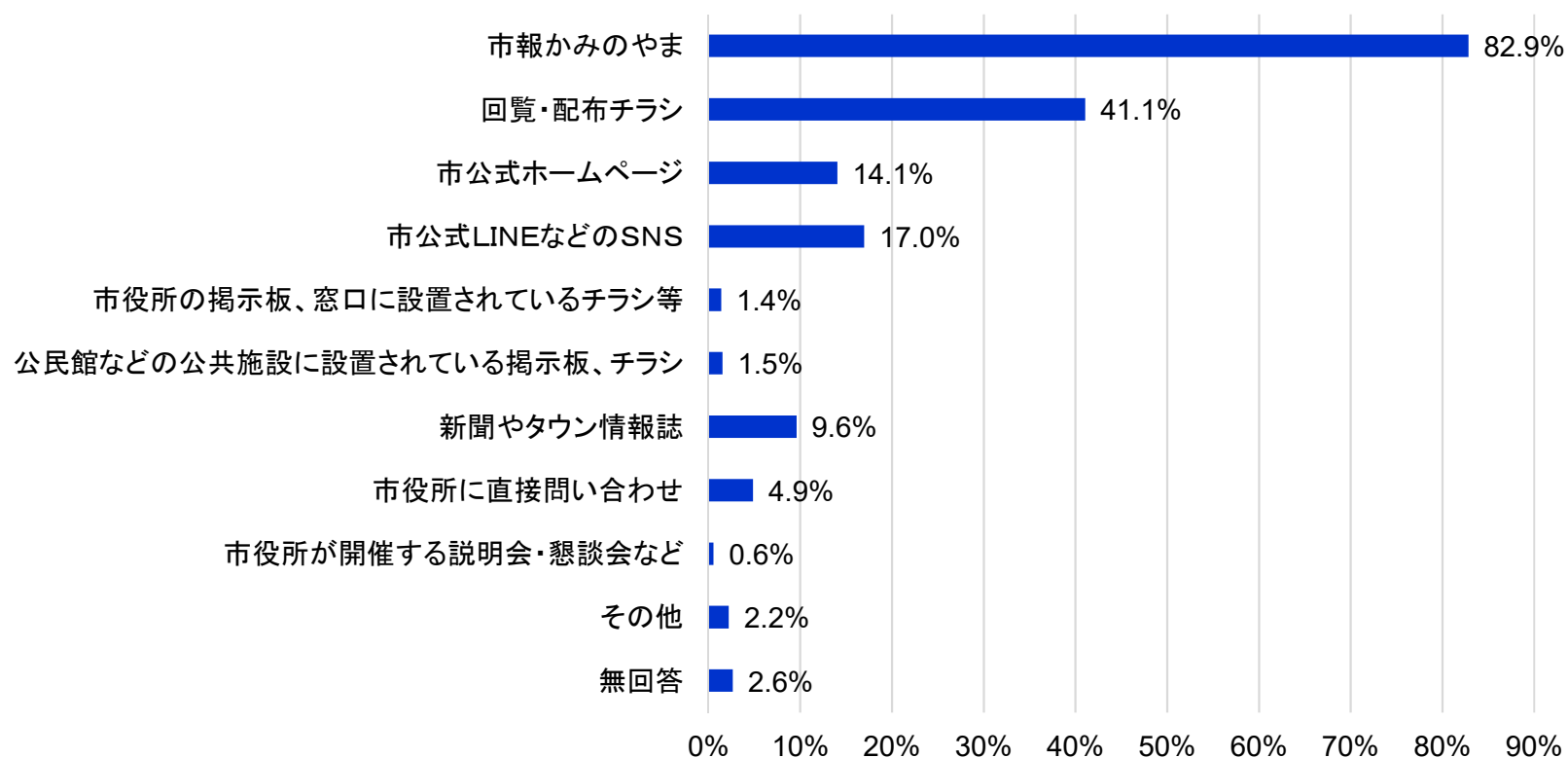


問20 あなたは、市役所からの行政情報などをどのような方法で把握していますか

80%以上の市民は、市役所からの行政情報などを市報で把握している。

問20 あなたは、市役所からの行政情報などをどのような方法で把握していますか。
あなたの方法を2つ以内で選んでください。

n=718



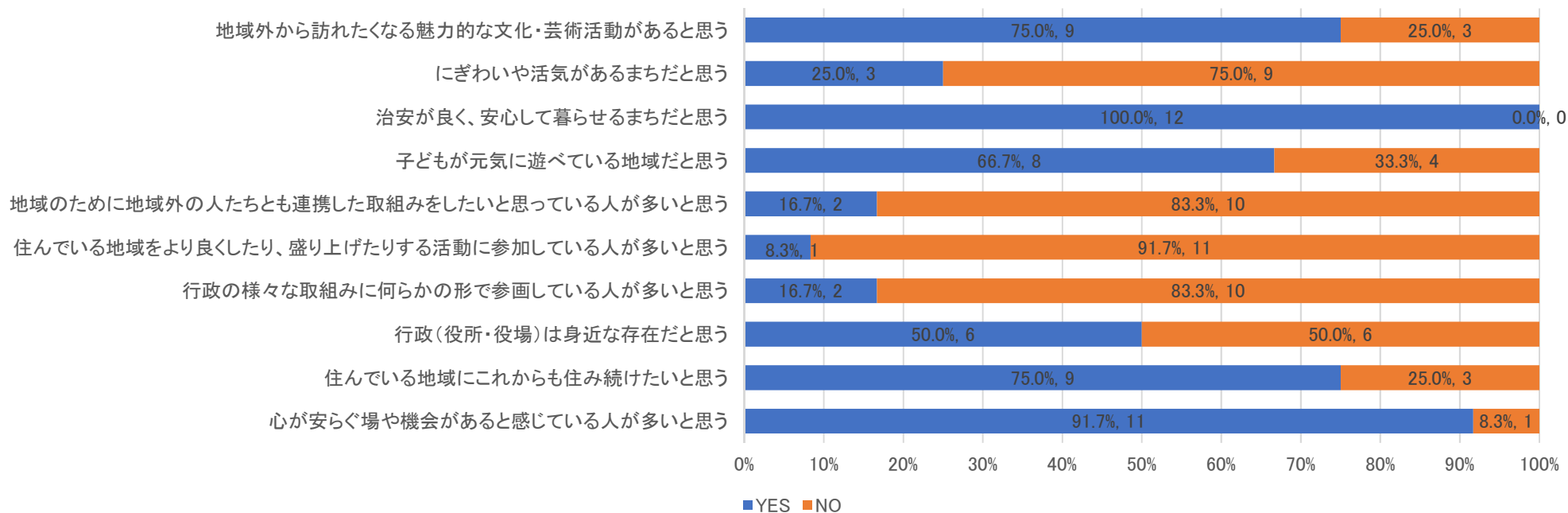
かみのやま☆未来市民会議の実施結果について

(1) 実施概要

- 基本構想の「将来都市像」に市民の意見を反映させていくことを目的に、計2回の市民会議を開催した。様々な世代・性別の参加があり、開催後のアンケートの結果からは、意見交換を通じて市民が本市の魅力に対する新たな気づきを得るとともに、今後の市政運営への参画に関する高い意欲を持ったことがうかがえた。
- 目的: 基本構想における将来都市像の検討材料となる市民意見の確認
- 日程: 第1回 6月21日(水) 19時00分～20時30分
第2回 6月28日(水) 19時00分～20時40分
- 参加者数 65人(うち市民53人)
(内訳 10代:5人、20～30代:23人、40～50代:13人、60歳以上:12人、男性計27人、女性計26人) ※職員を除く
- 評価: 第1回 4.48点(5段階 良い:5～悪い:1、アンケート回答者数54人)
第2回 4.55点(5段階 良い:5～悪い:1、アンケート回答者数51人)

(2) 第1回(6月21日(水)開催)

- 計12の班で地域の現状に関する問いが記載されたカードを用いて意見交換を行った上で、班ごとに「YES」「NO」の択一による見解を集約した。
- 「YES」の回答が多かったのは、「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」「心が安らぐ場や機会があると感じている人が多いと思う」「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」「地域外から訪れたいくなる魅力的な文化・芸術活動があると思う」等
 - 「NO」の回答が多かったのは、「住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う」「行政の様々な取組みに何らかの形で参画している人が多いと思う」「地域のために地域外の人たちとも連携した取組みをしたいと思っている人が多いと思う」等
 - 問いの内容ならびに全体回答の集計結果は下記の通り



(3) 第1回参加者アンケートに記載のあった「上山市の魅力」(1/3)

- ・ 地域資源の豊かさ、暮らしやすさ、ウェルビーイング
- ・ 温泉が多いが高い、市民なら割引をしてほしい、リナワールドがある。
- ・ 温泉やお城がある街であること、新幹線が通り、都心などからのアクセスが良いこと
- ・ 温泉、食べ物(ワイン含む農産物)、上山城下町、人情(高齢者)
- ・ 自然豊か、住みやすい。
- ・ 自然豊かなところ、治安が良いところ、行事がたくさんあるところ
- ・ 自然が豊かで観光資源にあふれているところ
- ・ 豊かな自然と食べ物
- ・ 自然、食物、人柄の良さ。コンパクトシティの良さ。治安の良さ
- ・ 温泉、クアオルト、お城など観光地としていろいろな物が詰まっているところ。自然も豊かで良い街だと思う。
- ・ 自然、豊かさ、静かで落ち着いている。
- ・ 自然、温泉、上山城、果物、ワイン…たくさんあると思います。
- ・ 緑がたくさんあること
- ・ 自然が豊か。温泉や文化、クアオルト、様々なイベントなど、いろんな要素を持っているところ
- ・ 自然資源が多くある。
- ・ 自然の豊かさ、食べ物のおいしさ
- ・ 自然が多い、(探せば、プロデュースすれば)文化的資源がある。温泉街、宿場町、城下町等
- ・ 自然、文化資源がたくさんある。アットホームな街。行政と市民が近い。
- ・ お城など歴史的な観光名所、他の地域より上質な果物
- ・ 自然、人
- ・ 大自然
- ・ 魅力のある資源の数の多さ(一方で尖った魅力はない)
- ・ 歴史、お城、食、人、古い町並み
- ・ 多様な地域資源がコンパクトな規模に詰まっている。

(3) 第1回参加者アンケートに記載のあった「上山市の魅力」(2/3)

- ・暮らしやすさ
 - ・暮らしやすさがダントツで良かった。
 - ・住むのには良い街だということは皆が思っていた。
 - ・心が落ち着く環境や場所がいろいろなところにある。
 - ・安心して住める街。災害、治安、救急医療等の対応。NPOを運営しているが、行政がより積極的に支援し市民活動を活発にしてほしい。
 - ・安心して暮らせえるが、行政とのかかわりが少ない人が多く、住みにくいと思っている人が多いと思う。
 - ・治安がいいこと、芸術活動が魅力的。子供がたのしいと思える市
 - ・文化的資源、人が落ち着く資源には充実している。
 - ・とびぬけている物(事)もなく、日常を普通に過ごせる。
 - ・果物がいろいろあり美しいし、景観も良いこと。人が良い。
-
- ・若者が前向き、自然や歴史がある。
 - ・人の温かさを感じるところ、温泉があり食べ物がおいしい。
 - ・人の温かさ、食べ物のおいしさ。ずっと上山にいるから当たり前すぎて魅力と思っていませんでしたが、色んな方のお話を聞いてみて、当たり前のことほど魅力なんだと感じました。
 - ・少しずつだが街をよくするためのアクションを起こす人が増えている。
 - ・盛り上げようとしている人々がいること。素材が豊富にあること
 - ・話をしていて、上山のことを悪く思っている人がいないことに上山の良さを感じました。
 - ・問題を自分事とする人の多さ(愚痴大会にならないこと)。
-
- ・ワクワクする場所が増えてきている。みんな老若男女問わず巻き込まれてほしい。
 - ・新しいお店が増えていると感じることと、歴史の深さが良いと思います。
 - ・良いものがたくさんあって、イベントなども増えてきて楽しいことが多くなってきた。上山を良くしたいと思っている人が多い。

(3) 第1回参加者アンケートに記載のあった「上山市の魅力」(3/3)

- なにもないけど、これからやりがいがある。
- 魅力はどうだろうと思っていましたが、自分が見えていなかったのかなと思います。
- 良い意味でも悪い意味でも向上心・意欲が高くないところ。子供と高齢者が一緒に楽しめる場があるところ。のんびりした雰囲気
- 歴史、文化、自然が整っている環境にあるのに、横の繋がりがなく連携がとれずに生かせていない。
- 魅力的な資源があるのに、活用できていないところ
- 観光地の発展に関しては魅力を感じています。ですが現在、点在しているだけなので、そこがもったいないと思っています。
- 日常何気なく見過ごしている事柄が有機的につながればますます魅力が増えてくる。
- 地元の良さを外へ発信できるといいかな？
- 魅力があまり知られていないところ

(4) 第2回(6月28日(水)開催)

- 第1回と同様、班ごとに「10年後の上山」をテーマにグループワークを行った、キーワードを抽出した上で類似の内容をグループピングし、最終的に全体を包含するキャッチフレーズを班ごとに検討した。

班	キャッチフレーズ	キーワード
① まちが元気の源		高齢者がイキイキ、安全安心、文化の香りがするまち、農業が元気！、子育てがしやすい、多世代でにぎわう場所がある、農産物のブランド化、利便性の良いまち、気軽な温泉施設、人気観光地 等
② 落ちつきとにぎわいが共生するまち		農業の活性化、発信、落ち着きとにぎわいの共生、人口増 等
③ 光りかがやく上山		交流、子育て応援上山、商店街、めざせ有名温泉街、上山城、安心・便利なくらし、食、自然を活かした町づくり
④ 推したくなるまち		情報発信、暮らしやすさ、子育て・教育、にぎわい、推し活、就活、ワクワク(わくわく)なまち、地域ブランド、若者の活躍 他
⑤ (記載無し)		自然、文化、場所、温泉、人、街並、観光、若者、デジタル、医療 他
⑥ トキメキいろどりのまち		イベント、城下町、グルメ、農業、自然、エンタメ、アダルト、アート、街作り、U-20、収入、ワクワク、安心、外国
⑦ 魅力に気づき市民が誇れるまち		健康自慢、市民が誇れるまち、未来を描けるまち、暮らしやすいまち、かみのやまブランド、活気のあるまち、若い世代が戻って来れる 他
⑧ 誰もが何にでもチャレンジできるまち		豊かな心の人がたくさんいる町、にぎわいのある商店街、温泉をいかす、支援の充実した町、あいさつができる観光地、大地の恵みを活かした町、大人の遊べる町
⑨ Y(ワイワイ)G(ガヤガヤ)P(ピンピン)30,000のまち		ランドマーク、多世代のつながり、教育、子育て、街のブランド、利便性、コンセプト、温泉、街のにぎわい
⑩ みんなが笑顔で暮らせるまちかみのやま		地域の絆、暮らしやすさ、若者のアイデア実現、豊かな自然と季節感、温泉満喫、豊かな伝統文化、果樹王国、まちの活性化
⑪ みんなが主人公のまち		ブランド、文化、エンタメ、にぎわい増加、特権
⑫ 人々の声が響き合うまち		まちのにぎわい、観光・娯楽の充実、医療福祉健康、スポーツ、発信、少子化対策、魅力(おもしろい)、環境

(5) 第2回参加者アンケートに記載のあった「感想」(1/2)

- 楽しく意見を言い合うことができて良かった。人それぞれ、思い思いの上山の話聞いて良かった。
- 各テーブルで取り上げられていたワードを今後の施策展開で活かしていきたい。お疲れ様でした。
- 他のグループのテーマを見に行く時間が楽しかった。
- かみのやまの未来が明るいことを祈っています。
- ここで出たアイデアを実際にも実現できるよう、実行していけると良いと思います！運営の皆さん、ありがとうございました。
- 未来のある明るい話ができてよかったです。将来都市、10年後が楽しみです。
- あまり自分の意見を言うのが得意ではないが、班の皆さんがとても話しやすい場を作ってくれて、高校生一人だったけど楽しく話し合いができました。
- もう少しいろんな人と話をしてみたかったです。
- 振興計画を作る(作り終わった)際には、ワークショップのこういった意見が反映されたのか教えていただきたいです！
- こういう機会でもない他の業種の方と話すことがないので、とても良い経験になりました。2回では足りないくらいとも思っています。とても楽しかったです。ありがとうございました。
- これだけの方が上山市を思っていることに感謝しております。仕事にも張り合いが出てまいりました。
- 多様な意見が出てよかったです。小中学校、障がい者、外国人とかも入るともっといろいろな意見がもらえたかもです。
- 2回のワークショップを通して、上山が10年後こうなってほしいという想いを伝えあい、上山の楽しさや豊かさを感じることができ良かったです。また機会があれば参加したいと思いました。
- ワークショップの意味が理解できていない方がいたので、事前の説明があると良いのではと思った。話をしたくてたまらないのか、何か場を設けて発散できる場があれば良いのかとも思った。色々な方の意見に耳を傾けて意見を集約するのは本当に大変だと思いますが、“良くしたい”という気持ちは同じだと思いますので頑張ってください(私も頑張ります)。
- 今まで上山の未来について、具体的に考えたことがなかったのですが、こういう町にしたいという意見を聞いて、おもしろいな、楽しみだなと思えました。もう少し市のことについて興味を持って見ていきたい、参加していきたいと思います！
- ワクワクしました。
- これからの上山市のために話したことをぜひ実現してほしいと思います。次回もあれば参加したいと思います。
- 市民一人一人、様々な意見・考えを持っていると思った。行政側に少しでも市民の意見が伝わり、市に反映してほしいなと思います。
- 貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！
- 2回を通して出会った人、意見、これからも上山で働く人間としてとても大切な財産ができました。ありがとうございました。
- ぜひ第3回も開催していただきたいです。今後も定期的に開催し、かみのやまの変化と一緒に見守っていきたいです。何か力になれることがあればいつでもお声がけください。ときめき、いろどりの町になりますように。
- 引き続き同様の会議の開催を求めます。

(5) 第2回参加者アンケートに記載のあった「感想」(2/2)

- 本当に楽しみながら話し合いができたこと。10年後といわず、年寄りのことも話し合い、そしてシェアハウスなども考えてほしいと思います。
- 様々な年代の方と話すことができて楽しかったです。このような機会を作っていただき、ありがとうございました。
- 上山市のことを考えて意見を言う機会があるのは楽しいので、これからもあってほしいと思った。
- 同じ意見、違う意見を平等に扱えたと思います。上山がもっと良くなるように私も何かしたいと思いました。
- 他業種で様々な年代の方と話ができただことは貴重な体験でした。
- 上山に住んでいるが、自分が知らなかった魅力に気付くことができた。これからは上山のいろいろなイベントなどにも参加したいと思った。
- この経験を計画作りに生かしてもらいたい。まだまだ多くの市民の声を反映してもらいたい。
- 貴重な機会をありがとうございました。一市民として10年後を考えながらより良い上山を目指していけたらと思います。
- まちづくりには市民ひとりひとりが当事者意識を持つことが大切だと感じました。
- 上山のことをこんなにも考えている市民が多くいることに力をもらえました。私の目指す上山「手入れが行き届いていて気持ちよくすごせる町」
- 町の元気は家庭からです。もっと家族と色々話をしたいと思います。上山市ばんざい！結婚を期に上山に移り住んで16年になります。たくさんいいところがあると改めて知りました。
- 他班の内容も見ることができてあらためていろんな考え方があることに気付かされた。
- 悪天候の中、コンパクトな会の進行で、メリハリのある会だった。このような会があることを、より多くの市民に知ってもらえる活動としてほしい。
- 今回色々書いたりしたことが一日も早く実現してほしいと思います。またこういうワークショップがあれば参加してみたいです。カメラだけがとてもいやでした。
- 2週にわたって参加できたので上山について考えることができた。この会議からつながるような案ができてほしい。
- 町の会議、未来会議が、たくさんあり、同じような話になるが、10年後20年後と言わず、何か一つでも近い未来に実現してほしいと思います。
- 若い方の考えを聞くことができて良かったです。いろんなことも含めて上山がますます発展することを願っております。
- 予算の有無に関係なく、実現可能な計画であってほしい。
- 前回に続き、学びの多い時間でした。1回目と2回目でグループ替えがあれば、より多くの人と交流できたと思いました。
- 回数をもっと多く機会を作っていただきたい。
- 参加してよかったです。一人一人の声が届く行政であってほしいです。
- 自分らが書いた真剣な意見を十分精査していただき、計画作成に役立てていただければと思います。
- 進行管理、ワークショップの手法ともに大変よかったです。参加者も楽しみながら進められたと思います。
- 定期的に開催することでより賑わいが生まれると思います。

団体ヒアリングの実施結果について

1 目的

基本計画の施策内容とその目標設定の参考とするため、各種団体との意見交換を実施する。

2 日程

6月27日（火）、6月28日（水）、6月29日（木）、7月4日（火）、
7月5日（水）

3 ヒアリング対象団体

(1) 文化

上山市文化団体協議会、羽州街道「櫓下宿」研究会、紫苑庭運営委員会

(2) 青少年育成・文化

ジュニアリーダーあすなろ、斎藤茂吉記念館、青少年育成推進員連絡協議会

(3) 商工業

上山市商工会

(4) スポーツ振興

上山市スポーツ協会、上山市レクリエーション協会、かみのやまスポーツクラブ、上山市スポーツ少年団本部、上山市スポーツ推進委員会

(5) 医療・福祉

上山市医師会、上山市歯科医師会、上山市薬剤師会

(6) 観光・宿泊業

上山市観光物産協会、かみのやま温泉旅館組合

(7) 林業

上山市生産森林組合連絡協議会

(8) 子ども・子育て

しらさぎ保育園保護者会、みなみ保育園保護者会

(9) 農業

山形農業協同組合、認定農業者連絡協議会、南果連協同組合、鳥獣害防止対策協議会、土地改良区

※上記以外の団体等については、担当課において、適宜情報交換を実施しているため実施しない。

基本構想骨子(案)

「下線」の箇所は第7次振興計画と比較し、今回の策定で変更または新設を検討する項目です。

第1章 総論

1 策定の趣旨

2 計画の構成と期間

2-1 計画の構成

2-2 個別計画との関係

2-3 計画の期間

3 計画の特色

3-1 わかりやすく実効性のある計画3-2 市民とともにづくり、実現する計画3-3 SDGsの理念を踏まえた計画

4 上山市の人口

4-1 人口動向

(1)昼夜人口

(2)通勤・通学による流出入人口

4-2 将来人口推計 (再試算)

第2章 基本構想

1 まちづくりの目標

1-1 基本方針

1-2 将来都市像

1-3 将来指標(目標値)

2 目標の実現に向けて

3 施策の大綱

3-1 (施策の大綱の名称①)

(1)目標

(2)まちづくりの方向性・説明

3-2 (施策の大綱の名称②)

3-3

4 土地利用

4-1 土地利用の基本方針

4-2 土地利用の基本的配置

(1)市中心部

(2)市域北部の平野及び丘陵地帯

(3)蔵王山腹・山麓一帯

(4)市域東南部

(5)市域西部

市民ワークショップ

人口ビジョン

団体
ヒアリング等地方版
総合戦略

国土利用計画

総論・基本構想(案)

目 次

第1章 総論	2
1 策定の趣旨	2
2 計画の構成と期間	3
2-1 計画の構成	3
2-2 個別計画との関係	3
2-3 計画の期間	4
3 計画の特色	5
3-1 わかりやすく実効性のある計画	5
3-2 市民とともにづくり、実現する計画	5
3-3 SDGsの理念を踏まえた計画	5
4 上山市の人口	6
4-1 人口動向	6
4-2 将来人口推計	8
第2章 基本構想	9
1 まちづくりの目標	9
1-1 基本方針	9
1-2 将来都市像	9
1-3 将来指標（目標値）	9
2 目標の実現に向けて	9
3 施策の大綱	10
3-1 施策の大綱の名称①	10
4 土地利用	11
4-1 土地利用の基本方針	11
4-2 土地利用の基本的配置	11

第1章 総論

1 策定の趣旨

上山市振興計画は、上山市（以下、「本市」といいます）の最上位計画であり、本市の目指す姿と、その実現に向けた施策の方向性を示します。

平成28（2016）年に策定した第7次上山市振興計画は、めざす将来都市像を「また来たくなるまち ずっと居たいまち ～クアオルト かみのやま～」と掲げ、総合的、かつ計画的なまちづくりを推進してきました。従来の総合計画とは視点を変え、新たに目標や目標値を掲げるとともに、庁内外における事業検証、必要に応じた計画の改訂を適宜行い、計画を実効性のあるものとししました。

この間、かみのやま温泉インター産業団地の分譲や、かみのやま温泉駅の東西における開発の着手、18歳までの子ども医療費の無償化や小中学校のＩＣＴ化の推進をはじめとした子育て環境の整備などハードとソフトの両面において本市発展における基礎を築きました。

一方、社会情勢は大きく変わりました。多発する自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や原油価格・物価高騰に加え、少子高齢化や人口減少、それに伴う地域コミュニティの衰退といった従来からの構造的課題はより深刻化しています。

また、SDGsの理念に基づく取組、グリーン化やデジタル化を軸とした新たな時代の到来が見えております。

こうした状況を踏まえ、本市をより良い形で次の世代へ引き継ぐためには、まちづくりの方向性を市民と行政が共有し、これまで以上に市民主体のまちづくりが求められます。

第8次上山市振興計画では、第7次上山市振興計画の成果を引き継ぐとともに、本市にある豊かな地域資源を有効に活用し、地域の課題解決に柔軟に対応していくことで、将来にわたり本市の持続可能な地域社会を実現していくため、ここに市民とともに歩む「第8次上山市振興計画」を策定します。

2 計画の構成と期間

2-1 計画の構成

第8次上山市振興計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」で構成します。

(1) 基本構想

まちづくりの目標となる将来都市像や基本的な方向性などについて示します。市民、地域・団体、事業者と行政がそれぞれの役割を果たすことで達成する計画とします。

(2) 基本計画

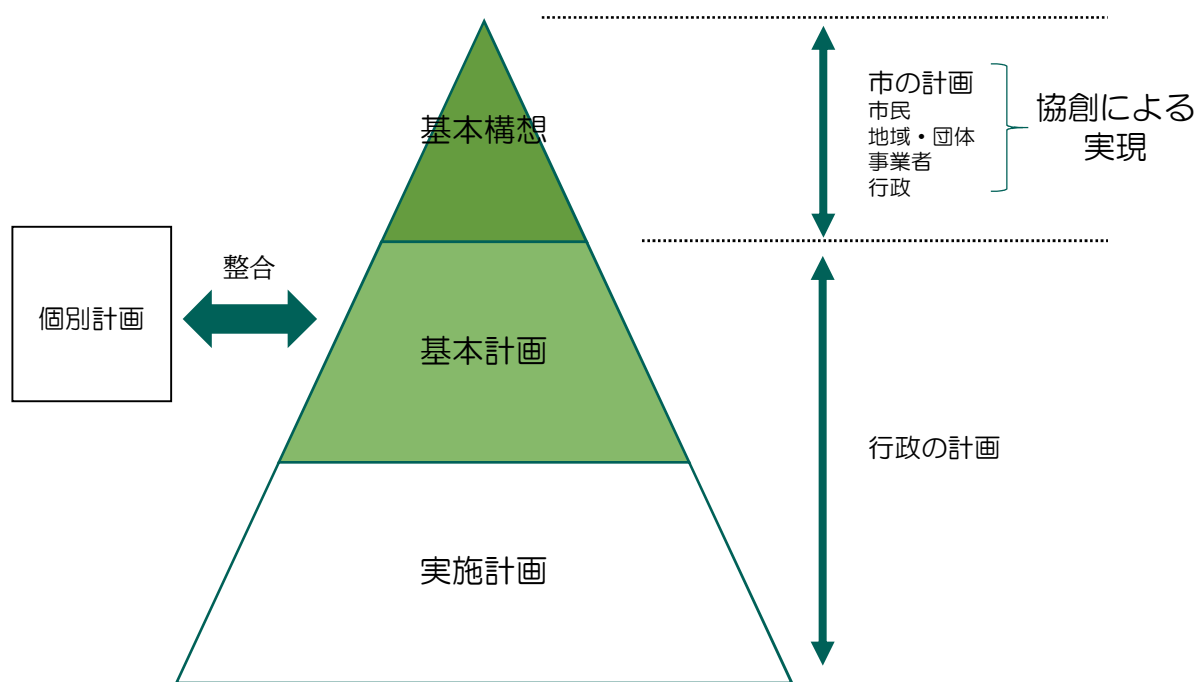
基本構想で目標としたまちづくりを実現するため、行政が役割を果たしていくべき手段を施策として示します。

(3) 実施計画

基本計画を達成するための手段を、財政状況や社会情勢を加味し事業として示します。

2-2 個別計画との関係

各施策を実施する上で策定する個別計画については、原則として基本計画と整合させて策定します。



2-3 計画の期間

基本構想は、令和6（2024）年度から令和13（2031）年度までの8年間とします。

基本計画は、基本構想と同様に8年間とし、それぞれ4年間で前期・後期計画とします。

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
基本構想	令和6年度～令和13年度 (基本構想：8年間)							
基本計画 (施策)	令和6年度～令和9年度 (前期基本計画：4年間)				令和10年度～令和13年度 (後期基本計画：4年間)			
実施計画 (事業)	実施 計画	実施 計画	実施 計画	実施 計画	実施 計画	実施 計画	実施 計画	実施 計画

なお、第8次上山市振興計画を着実に実現していくためには、事業の効果を検証し、限られた行政資源（人・モノ・財源・情報）を効率的に配分し、効果的に事業を進めていく必要があります。そのため、第8次上山市振興計画の目標達成状況等の確認等を行い、財政状況や社会情勢、市民ニーズなどを考慮した上で、計画期間中であっても柔軟に見直しを図ります。

3 計画の特色

3-1 わかりやすく実効性のある計画

本市の目指す姿（将来都市像）と、その実現に向けた施策の方向性を明示するとともに、施策と事業には、計画期間に応じた目標・目標値を設定しています。

進行管理を通じた改善をはかることで、策定後の運用においても実効性を確保できる計画としました。

3-2 市民とともにづくり、実現する計画

まちづくりの方向性を示すにあたり、多くの市民や団体の皆さまと対話を重ねた他、基礎調査として市民意識調査をはじめとした実態把握を行いました。

市民の声を活かして策定した計画であり、市民や地域・団体、事業者、そして行政など、市内に存在する様々な主体による協創によってその実現を目指します。

3-3 SDGs※1) の理念を踏まえた計画

持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念は、将来にわたって持続可能なまちであり続けることを目指し、多様な主体との協創によって総合計画の実現をはかる本市においてもあてはまるものです。

本計画におきましても、各施策とSDGsの関連性を明らかにして、持続可能なまちづくりを進めていきます。

※1 SDGs（持続可能な開発目標）とは

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、平成27（2015）年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、2030（令和 12）年を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されています。

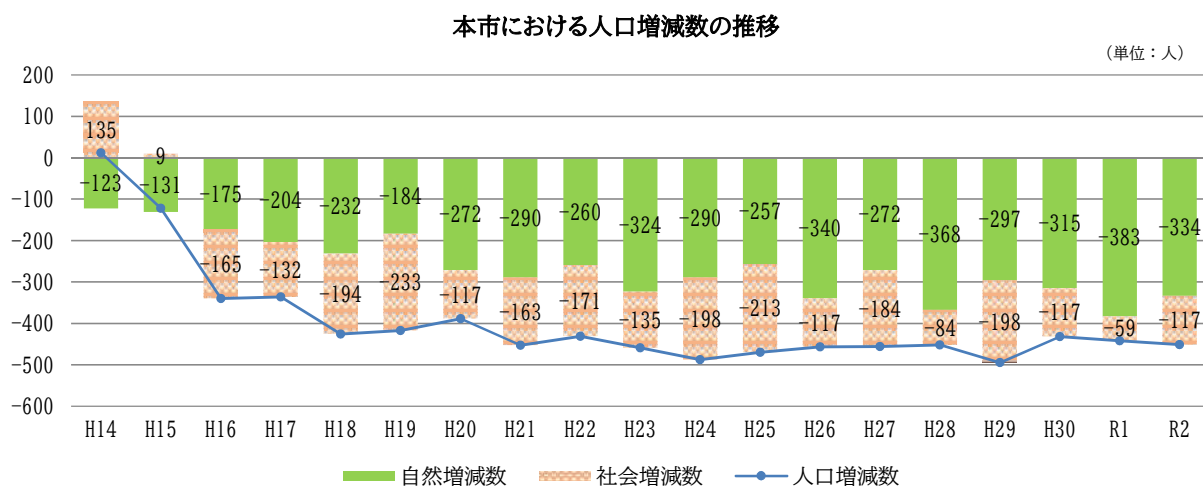
日本政府は、平成28（2016）年12月に策定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」の中で、国として注力すべき8つの優先課題を掲げるとともに、各自治体に対して、各種計画や戦略、方針の策定等にSDGsの要素を最大限反映することを奨励しています。また、平成29（2017）年には、地方でのSDGsの推進が地方創生に資するとして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にSDGsの推進が組み込まれました。



4 上山市の人口

4-1 人口動向

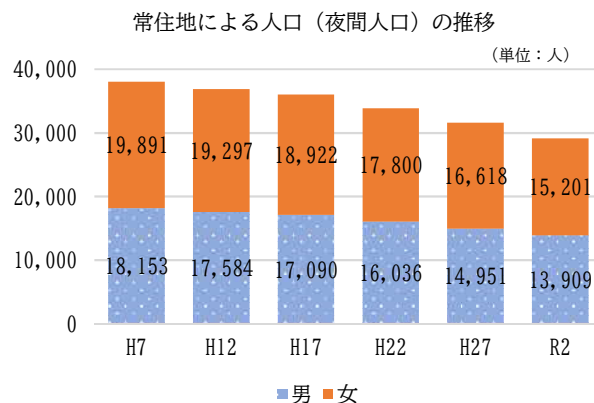
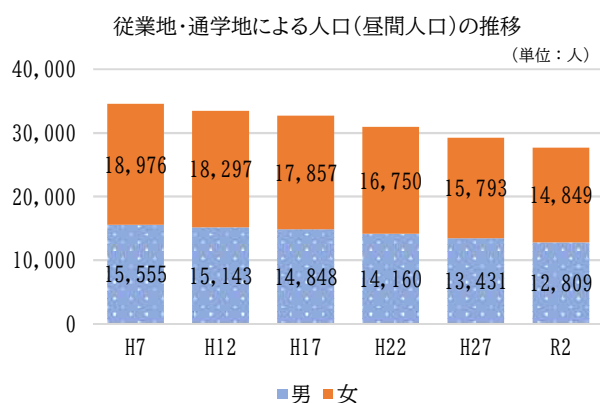
本市では、平成16（2004）年以降、生まれた人の数が亡くなった人の数を下回る「自然減」、市内に流入する人の数が市外に流出する人を下回る「社会減」の状況が続いています。平成18（2006）年以降は、約400人を超える人口が減少しており、直近の令和（2021）年は472人の減少でした。



出典：上山市「令和4年 数字でみるかみのやま」、総務省「国勢調査」

（1） 昼夜人口

国勢調査によれば、平成7（1995）年～令和2（2020）年までの25年間で、本市の昼間人口は6,873人、夜間人口は8,934人減少しました。



出典：上山市「令和4年 数字でみるかみのやま」、総務省「国勢調査」

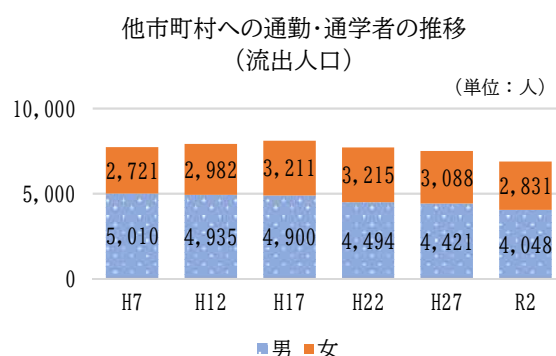
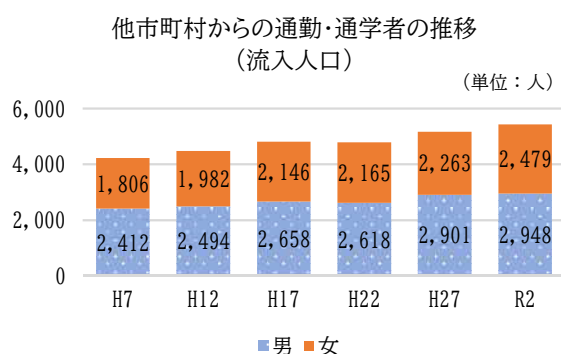
(単位：人)

区分	従業地・通学地による人口 (昼間人口)			常住地による人口 (夜間人口)		
	計	男	女	計	男	女
平成 7 (1995) 年	34,531	15,555	18,976	38,044	18,153	19,891
平成12 (2000) 年	33,440	15,143	18,297	36,881	17,584	19,297
平成17 (2005) 年	32,705	14,848	17,857	36,012	17,090	18,922
平成22 (2010) 年	30,910	14,160	16,750	33,836	16,036	17,800
平成27 (2015) 年	29,224	13,431	15,793	31,569	14,951	16,618
令和 2 (2020) 年	27,658	12,809	14,849	29,110	13,909	15,201

出典：上山市「令和4年 数字でみるかみのやま」、総務省「国勢調査」

(2) 通勤・通学による流出入人口

国勢調査によれば、平成7（1995）年～令和2（2020）年までの25年間で、本市への流入人口はやや増加傾向にあります。



区分	他市町村からの通勤・通学者 (流入人口)			他市町村への通勤・通学者 (流出人口)		
	計	男	女	計	男	女
平成 7 (1995) 年	4,218	2,412	1,806	7,731	5,010	2,721
平成12 (2000) 年	4,476	2,494	1,982	7,917	4,935	2,982
平成17 (2005) 年	4,804	2,658	2,146	8,111	4,900	3,211
平成22 (2010) 年	4,783	2,618	2,165	7,709	4,494	3,215
平成27 (2015) 年	5,164	2,901	2,263	7,509	4,421	3,088
令和 2 (2020) 年	5,427	2,948	2,479	6,879	4,048	2,831

出典：上山市「令和4年 数字でみるかみのやま」、総務省「国勢調査」

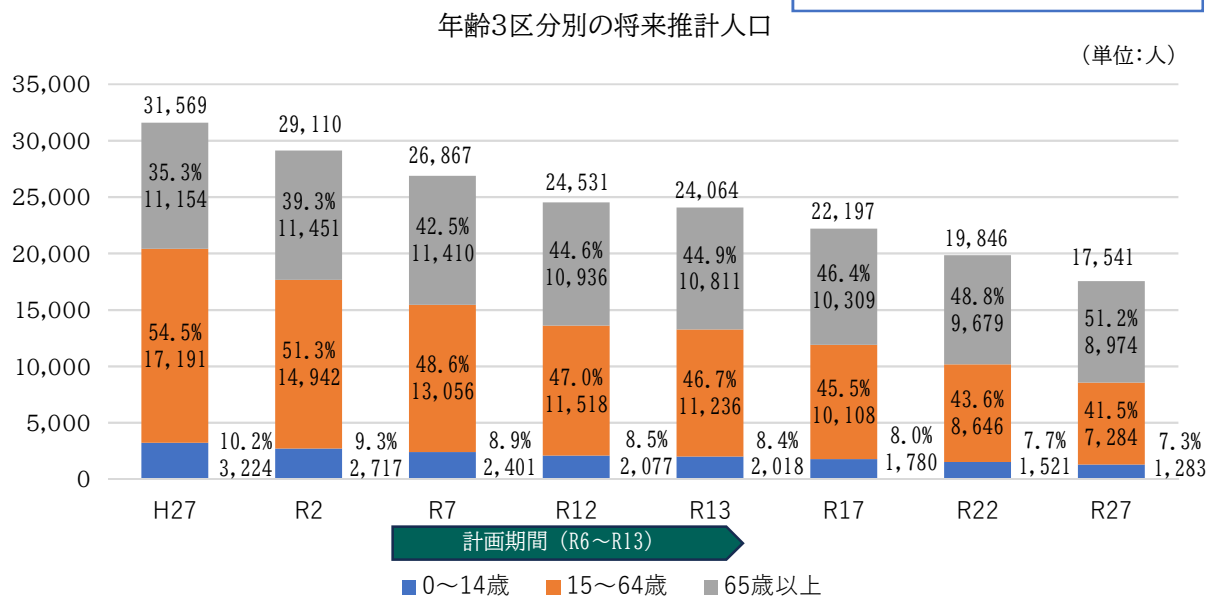
4-2 将来人口推計

本市の総人口は、昭和35（1960）年の40,383人をピークとして、若干の減少はありつつ、いわゆるバブル経済期（昭和60年頃～平成初期頃）までほぼ横ばいで推移してきました。その後、昭和60（1985）年頃から年少人口と生産年齢人口が減少し始め、総人口の減少が続き、令和2（2020）年時点の高齢化率は39.4%となっています。

本市においては今後、年少人口や生産年齢人口に加え、65歳以上の高齢者人口も早晩に微増から減少に向かうと推測され、人口減少はさらに加速すると見込まれます。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和12（2030）年の本市の人口は、24,531人となることが見込まれており、本計画の期間となる令和13（2031）年時点の水準を試算すると、24,064人という水準が算出されます（※2）。

R 5.10
住基データ追加予定



(単位:人)

男女計	平成27 (2015) 年	令和2 (2020) 年	令和7 (2025) 年	令和12 (2030) 年	令和13 (2031) 年	令和17 (2035) 年	令和22 (2040) 年	令和27 (2045) 年
総数	31,569	29,110	26,867	24,531	24,064	22,197	19,846	17,541
0～14歳	3,224	2,717	2,401	2,077	2,018	1,780	1,521	1,283
15～64歳	17,191	14,942	13,056	11,518	11,236	10,108	8,646	7,284
65歳以上	11,154	11,451	11,410	10,936	10,811	10,309	9,679	8,974

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所資料

※2 国立社会保障・人口問題研究所による推計結果をもとに、令和12（2030）年～令和17（2035）年までの平均減少率に基づき試算した結果に基づきます。

第2章 基本構想

1 まちづくりの目標

1-1 基本方針

※上山市市民憲章等を踏まえ、記載します。

1-2 将来都市像

※かみのやま☆未来市民会議における市民からの意見等をもとに内容の検討を進めております。諸施策の実行を通じて目指すべき理想的な本市の姿を示します。

1-3 将来指標（目標値）

※現在、かみのやま☆未来市民会議、団体ヒアリング等における市民や事業者からの意見等をもとに内容の検討を進めております。将来都市像に向けて、諸施策の実行を通じて実現すべき目標値を示します。

2 目標の実現に向けて

地域社会における課題は複雑化・多様化しています。また、限られた財源の中、行政による取組だけではその解決を十分にはかることができません。

また、地域においては様々な価値観や能力を有する市民や事業者、団体等がそれぞれの強みを生かして活動しており、将来都市像の実現をはかる上で、こうした多様な主体が協力し、お互いの役割を果たすことが不可欠です。

一方、市民意識調査によると、市政への関わり方について、積極的にまちづくり活動に参加する意向は弱く、「アンケート調査で充分である」と捉えている市民が多いのが現状です。持続可能な社会を実現するためには、行政と市民が両輪となってまちづくりをしていくことが重要ですが、いかにまちづくりの主体となる市民を増やしていくかが課題となっております。

そのため、第8次上山市振興計画では、互いの個性や価値観を認め合い、様々な主体の協力を通じてまちを創りあげていく、「協創」を推進します。

3 施策の大綱

3-1 施策の大綱の名称①

(1) 目標

施策の大綱別に、目指すべき状態について、定性的に記載します。

(2) まちづくりの方向性

各分野におけるまちづくりの方向性について、定性的に記載します。

4 土地利用

4-1 土地利用の基本方針

土地利用の基本方針を記載します。なお、基本方針ならびに土地利用の基本的配置は、国土利用計画との整合をはかるものとします。

4-2 土地利用の基本的配置

(1) 市中心部

市中心部における、土地利用の基本的配置について記載します。

(2) 市域北部の平野及び広陵地帯

市域北部の平野及び広陵地帯における、土地利用の基本的配置について記載します。

(3) 蔵王山腹・山麓一体

蔵王山腹・山麓一体における、土地利用の基本的配置について記載します。

(4) 市域東南部

市域東南部における、土地利用の基本的配置について記載します。

(5) 市域西部

市域西部における、土地利用の基本的配置について記載します。

施策の大綱 体系(案)

基本的な考え方

・SDGs実施指針改定版(平成28年12月22日付けSDGs推進本部決定、令和元年12月20日一部改定)では、「8つの優先課題※」を示しており、第8次上山市振興計画では、この優先課題に基づき施策の大綱を設定する。

※8つの優先課題とは、SDGsのゴールとターゲットのうち、日本として特に注力すべきものを示すべく、日本の文脈に即して再構成したもの。

- ・その上で、「8 SDGs実施推進の体制と手段」は、基本計画における「計画の推進」として位置づける。
- ・施策の大綱の名称は、今後、市民にわかりやすい名称に変更する。

施策の大綱(SDGsの8つの優先課題)	分野
1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現	・子育て ・学校教育 ・生涯学習 ・スポーツ ・文化・芸術 ・ダイバーシティ ・障がい者福祉 ・生活保護 ・交流 ・担い手 ・地域社会 ・自治活動 等
2 健康・長寿の達成	・高齢者福祉 ・地域福祉 ・医療 ・介護 等
3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	・商業 ・工業 ・農業 ・観光 ・情報通信 等
4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	・公共交通 ・道路 ・住宅 ・河川 ・上下水道 等
5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会	・土地利用 ・地球温暖化対策 ・循環型社会 ・減災・防災 等
6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	・景観 ・環境保全 等
7 平和と安全・安心社会の実現	・消防 ・救急 ・防犯 ・交通安全 等
基本施策(SDGsの8つの優先課題)	分野
8 SDGs実施推進の体制と手段(計画の推進)	・広報・広聴 ・行財政改革 ・職員の採用・育成 等